

正味財産増減計算書(予算対比)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考欄
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	[7,000]	[9,015]	[△ 2,015]	
特定資産受取利息	7,000	9,015	△ 2,015	
受取入会金	[31,920,000]	[32,124,000]	[△ 204,000]	
受取入会金	31,920,000	32,124,000	△ 204,000	
受取会費	[172,680,000]	[171,552,000]	[1,128,000]	
正会員受取会費	172,680,000	171,552,000	1,128,000	
事業収益	[212,448,000]	[209,906,910]	[2,541,090]	
教育研修会参加料	71,974,000	68,603,753	3,370,247	
看護職員の資質向上研修事業受託料	24,737,000	24,577,230	159,770	
ナースセンター事業受託料	30,160,000	30,160,000	0	
ナースセンター会館管理受託料	5,840,000	5,840,000	0	
訪問看護推進事業受託料	7,081,000	7,081,000	0	
小児救急電話相談事業受託料	1,939,000	1,190,456	748,544	
日本看護協会受託料	5,678,000	5,485,468	192,532	
訪問看護療養費収益	34,330,000	49,839,275	△ 15,509,275	
基本利用料収益	19,050,000	3,677,950	15,372,050	
その他の利用料収益	1,220,000	1,568,451	△ 348,451	
居宅介護支援事業収益	7,090,000	6,311,763	778,237	
受取手数料	1,933,000	1,714,899	218,101	
雑収益	1,416,000	3,856,665	△ 2,440,665	
受取補助金等	[9,552,000]	[9,552,020]	[△ 20]	
「看護の日」事業補助金	100,000	100,000	0	
(公社)日本看護協会助成金	9,452,000	9,452,020	△ 20	
受取寄付金	[1,500,000]	[5,146,918]	[△ 3,646,918]	
受取寄付金	1,500,000	1,300,000	200,000	
受取寄付金振替額	0	3,846,918	△ 3,846,918	
雑収益	[215,000]	[952,116]	[△ 737,116]	
受取利息	10,000	12,296	△ 2,296	
雑収益	205,000	939,820	△ 734,820	
経常収益計	428,322,000	429,242,979	△ 920,979	
(2) 経常費用				
事業費	[338,870,000]	[330,205,966]	[8,664,034]	
役員報酬	22,787,000	22,542,607	244,393	
給与手当	127,465,000	125,571,725	1,893,275	
賞与	15,635,000	15,634,888	112	
通勤手当	7,006,000	7,185,958	△ 179,958	
役員退職慰労引当金繰入	2,324,000	2,323,083	917	
退職給付費用	4,235,000	4,206,891	28,109	
法定福利費	24,574,000	24,043,458	530,542	
福利厚生費	2,239,000	6,117,291	△ 3,878,291	
会議費	982,000	653,212	328,788	
旅費交通費	3,297,000	1,906,033	1,390,967	
通信運搬費	7,868,000	9,058,856	△ 1,190,856	
減価償却費	16,805,000	12,980,039	3,824,961	
消耗什器備品費	271,000	164,758	106,242	
消耗品費	8,019,000	7,419,979	599,021	
修繕費	1,606,000	1,173,353	432,647	
印刷製本費	15,915,000	15,135,744	779,256	
燃料費	458,000	467,007	△ 9,007	
光熱水料費	7,093,000	6,911,197	181,803	
賃借料	6,058,000	5,081,021	976,979	
保険料	1,606,000	1,625,176	△ 19,176	
諸謝金	25,276,000	22,301,618	2,974,382	
租税公課	5,974,000	5,955,374	18,626	
支払負担金	35,000	35,000	0	
支払手数料	896,000	1,292,647	△ 396,647	
看護材料購入費	345,000	357,869	△ 12,869	
管理諸費	20,809,000	20,225,752	583,248	

正味財産増減計算書(予算対比)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考欄
図書費	928,000	1,202,695	△ 274,695	
委託費	4,537,000	6,293,106	△ 1,756,106	
広報費	2,940,000	1,948,748	991,252	
雑費	887,000	390,881	496,119	
管理費	[41,556,000]	[41,668,347]	[△ 112,347]	
役員報酬	629,000	623,394	5,606	
給料手当	12,492,000	11,945,123	546,877	
賞与	1,717,000	1,717,299	△ 299	
通勤手当	847,000	840,445	6,555	
役員退職慰労引当金繰入	219,000	218,583	417	
退職給付費用	398,000	395,834	2,166	
法定福利費	2,401,000	2,333,671	67,329	
福利厚生費	123,000	73,991	49,009	
会議費	1,297,000	926,225	370,775	
旅費交通費	200,000	148,375	51,625	
通信運搬費	4,179,000	3,452,400	726,600	
減価償却費	1,458,000	4,033,674	△ 2,575,674	
消耗什器備品費	12,000	5,742	6,258	
消耗品費	280,000	266,854	13,146	
修繕費	172,000	724,067	△ 552,067	
印刷製本費	3,390,000	3,140,902	249,098	
光熱水料費	697,000	701,890	△ 4,890	
賃借料	2,193,000	1,636,630	556,370	
保険料	139,000	145,902	△ 6,902	
諸謝金	212,000	87,142	124,858	
租税公課	1,039,000	1,040,791	△ 1,791	
支払負担金	380,000	311,500	68,500	
支払手数料	3,776,000	3,934,451	△ 158,451	
管理諸費	1,782,000	1,557,866	224,134	
交際費	630,000	528,553	101,447	
図書費	304,000	307,796	△ 3,796	
広報費	190,000	302,300	△ 112,300	
雑費	400,000	266,947	133,053	
経常費用計	380,426,000	371,874,313	8,551,687	
評価損益等調整前当期経常増減額	47,896,000	57,368,666	△ 9,472,666	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	47,896,000	57,368,666	△ 9,472,666	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	[0]	[4,499]	[△ 4,499]	
車両運搬具売却益	0	4,499	△ 4,499	
経常外収益計	0	4,499	△ 4,499	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	[303,700]	[9]	[303,691]	
什器備品除却損	102,700	9	102,691	
その他固定資産除却損	201,000	0	201,000	
経常外費用計	303,700	9	303,691	
当期経常外増減額	△ 303,700	4,490	△ 308,190	
当期一般正味財産増減額	47,592,300	57,373,156	△ 9,780,856	
一般正味財産期首残高	785,736,818	785,736,818	0	
一般正味財産期末残高	833,329,118	843,109,974	△ 9,780,856	
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	0	3,846,918	△ 3,846,918	
受取寄付金	0	3,846,918	△ 3,846,918	
一般正味財産への振替額	0	△ 3,846,918	3,846,918	
一般正味財産への振替額	0	△ 3,846,918	3,846,918	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	833,329,118	843,109,974	△ 9,780,856	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

1) 固定資産の減価償却費の方法

(1)有形固定資産(リース資産を除く)

①建物、建物付属設備

平成10年3月31日以前取得のものについては定率法により、
平成10年4月1日以降取得のものについては定額法によっている。(附属設備を除く)
建物付属設備は平成28年4月1日以降取得のものについては定額法によっている。

②構築物、車両運搬具、什器備品、その他固定資産

定率法によっている。
構築物は平成28年4月1日以降取得のものについては定額法によっている。

(2)無形固定資産(リース資産を除く)

①その他固定資産

定額法によっている。

(3)リース資産

①所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

2) 引当金の計上基準

(1)役員退職慰労引当金

役員の退職給付に備えるため、当期末における退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

(2)退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
役員退職慰労引当資産	7,705,556	2,541,666	3,150,000	7,097,222
退職給付引当資産	41,343,310	4,602,725	8,858,450	37,087,585
看護会館取得資産	362,218,388	24,893,036	0	387,111,424
記念事業積立資産	2,400,000	400,000	0	2,800,000
合計	413,667,254	32,437,427	12,008,450	434,096,231

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
役員退職慰労引当資産	7,097,222	0	0	7,097,222
退職給付引当資産	37,087,585	0	0	37,087,585
看護会館取得資産	387,111,424	0	387,111,424	0
記念事業積立資産	2,800,000	0	2,800,000	0
合計	434,096,231	0	389,911,424	44,184,807

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	368,801,658	△ 259,382,763	109,418,895
構築物	35,220,427	△ 33,123,398	2,097,029
車両運搬具	12,179,431	△ 11,326,505	852,926
什器備品	77,486,158	△ 70,580,587	6,905,571
図書	31,151,780	△ 0	31,151,780
リース資産	17,093,580	△ 5,559,180	11,534,400
その他固定資産	56,598,792	△ 29,458,895	27,139,897
合計	598,531,826	△ 409,431,328	189,100,498

財務諸表に対する注記

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
教育事業(研修)助成金	日本看護協会	0	9,452,020	9,452,020	0	
看護の普及啓発事業助成金	日本看護協会	0	100,000	100,000	0	
委託費						
千葉県喀痰吸引等指導者養成講習業務	千葉県	0	501,707	501,707	0	
新人看護職員研修事業	千葉県	0	5,000,000	5,000,000	0	
実習指導者講習会事業	千葉県	0	1,200,000	1,200,000	0	
看護教員養成講習会事業	千葉県	0	16,296,296	16,296,296	0	
小児等在宅連携拠点事業新生児科等からの在宅移行支援研修事業	千葉県	0	585,587	585,587	0	
看護職員認知症対応力向上研修事業	千葉県	0	348,228	348,228	0	
看護職員認知症対応力向上研修事業	千葉市	0	645,412	645,412	0	
千葉県ナースセンター事業管理運営	千葉県	0	36,000,000	36,000,000	0	
千葉県訪問看護推進事業	千葉県	0	6,281,000	6,281,000	0	
千葉県訪問看護ステーション等出向支援事業コーディネート業務	千葉県	0	800,000	800,000	0	
多職種協働かかりつけ医・在宅医療等県民啓発事業	千葉県医師会	0	171,000	171,000	0	
千葉県小児救急電話相談事業	千葉県医師会	0	1,019,456	1,019,456	0	
会員登録事務業務	日本看護協会	0	4,025,180	4,025,180	0	
代議員選出に関する業務	日本看護協会	0	154,808	154,808	0	
インターネット配信研修事務委託費	日本看護協会	0	539,408	539,408	0	
看護政策推進のための組織強化事業	日本看護協会	0	766,072	766,072	0	
合計		0	83,886,174	83,886,174	0	

6. 関連当事者との取引の内容
 該当なし

7. 重要な後発事象
 該当なし

8. その他

1) リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

(1) リース資産の内容

主として研修機材及び事務機器等の什器備品である。

(2) リース資産の減価償却の方法

重要な会計方針「1) 固定資産の減価償却費の方法」に記載のとおりである。

2) 資産除去債務に関する注記

当法人は、自己所有である建物等に係る債務を有しているが、当該債務に関連する資産の引払い等の時期が明確ではなく蓋然性が極めて低いため、当事業年度においては資産除去債務を計上していない。

附属明細書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記「2. 特定資産の増減額及びその残高」に記載

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	7,705,556	2,541,666	3,150,000	0	7,097,222
退職給付引当金	41,343,310	4,602,725	8,858,450	0	37,087,585

財産目録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金	手許現金	運転資金として	435,160	
普通預金	千葉銀行 本店営業部	運転資金として	36,291,769	
	千葉銀行 本店営業部	運転資金として	206,245,633	
	千葉銀行 本店営業部	運転資金として	835,646	
	千葉銀行 本店営業部	運転資金として	54,550,900	
	千葉興業銀行 本店	運転資金として	38,393	
	千葉興業銀行 本店	運転資金として	0	
	京葉銀行 本店	運転資金として	37,639	
	京葉銀行 本店	運転資金として	0	
	千葉銀行 本店営業部	運転資金として	1,853,947	
	定期預金	千葉銀行 本店営業部		35,000,000
千葉興業銀行 本店			30,000,000	
京葉銀行 本店			30,000,000	
未収入金		訪問看護・居宅事業(公益目的事業)にかかるもの	15,520,295	
		看護職員養成講習会受託料等(公益目的事業)	26,082,366	
立替金		日看協総会代議員費用立替金	586,300	
前払費用		翌年度以降相当分保険料他	1,529,070	
流動資産合計			439,007,118	
(固定資産)				
特定資産				
役員退職慰労引当資産	千葉銀行 本店営業部	役員に対する退職金の支払いに備えたもの	7,097,222	
	普通預金			
退職給付引当資産	千葉銀行 本店営業部	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	18,387,585	
	普通預金			
	千葉銀行 本店営業部	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	18,700,000	
	定期預金			
千葉銀行 本店営業部	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	0		
定期預金				
看護会館取得資産	千葉銀行 本店営業部	看護会館本館及び別館の建替えに備えたもの	347,111,424	
	普通預金			
千葉銀行 本店営業部	看護会館本館及び別館の建替えに備えたもの	40,000,000		
定期預金				
記念事業積立資産	千葉銀行 本店営業部	40周年記念事業資金として	2,800,000	
その他固定資産	建物	会館(別館含む)および本納建物	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	184,147,478
			減価償却累計額	△ 138,298,205
			45,849,273	
		収益事業等の用に供している	821,833	
			減価償却累計額	△ 712,300
			109,533	
		管理運営の用に供している	183,832,347	
			減価償却累計額	△ 120,372,258
	63,460,089			

財産目録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
構築物	看板工事等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額	17,444,870 △ 17,234,638	
			210,232	
		収益事業等の用に供している 減価償却累計額	67,853 △ 67,852	
			1	
		管理運営の用に供している 減価償却累計額	17,707,704 △ 15,820,908	
			1,886,796	
	車両運搬具	訪問看護用車両12台 及び多目的車両1台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額	11,890,109 △ 11,037,188
				852,921
			収益事業等の用に供している 減価償却累計額	6,774 △ 6,771
				3
		管理運営の用に供している 減価償却累計額	282,548 △ 282,546	
			2	
什器備品	看護会館内の 什器備品一式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額	66,102,626 △ 60,688,508	
			5,414,118	
		収益事業等の用に供している 減価償却累計額	329,641 △ 327,214	
			2,427	
	管理運営の用に供している 減価償却累計額	11,053,891 △ 9,564,865		
		1,489,026		
図書	書物一式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	31,151,780	
リース資産	研修用機材 及び事務機器等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額	4,137,817 △ 2,872,146	
			1,265,671	
		収益事業等の用に供している 減価償却累計額	10,165 △ 10,165	
			0	
	管理運営の用に供している 減価償却累計額	12,945,598 △ 2,676,869		
		10,268,729		

財産目録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
その他固定資産	ソフトウェア・システム等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額	52,871,807 △ 27,963,559 24,908,248		
		収益事業等の用に供している 減価償却累計額	502,072 △ 182,644 319,428		
		管理運営の用に供している 減価償却累計額	3,224,913 △ 1,312,692 1,912,221		
		電話加入権	本館および別館 電話加入権	相談事業用電話 245-0008 他	1,186,490
		保証金	警備保障契約保証金 駐車場賃借保証金		100,000 4,000
リサイクル預託金	訪問看護用車両12台 多目的車両1台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 管理運営の用に供している	101,550 12,180		
固定資産合計			624,600,949		
資産合計			1,063,608,067		
(流動負債)					
未払金	ちばぎんコンピューター サービス他	公益目的事業および管理運営の支出に 供する経費及び管理システム等の未払金	21,159,154		
リース債務	リコーリース(株)	公益目的事業および管理運営の支出に 供するリース債務	11,534,400		
前受金	令和2年度入会金	公益目的事業および管理運営の支出に 供する入会金の前受分	876,000		
前受会費	令和2年度年会費	公益目的事業および管理運営の支出に 供する会費の前受分	140,646,000		
預り金	令和2年3月分源泉所得税 他		1,217,732		
仮受金	(公社)日本看護協会他	会費返金分及び研修中止による返金分等	880,000		
流動負債合計			176,313,286		
(固定負債)					
役員退職慰労引当金	期末退職給付要支給額	役員に対する退職金の支払いに備えたもの	7,097,222		
退職給付引当金	期末退職給付要支給額	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	37,087,585		
固定負債合計			44,184,807		
負債合計			220,498,093		
正味財産			843,109,974		

資金収支計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	会計区分	収益事業等会計				計	法人会計	内部取引 消去	合計
		公益目的 事業会計	施設の 貸与等事業	販売手数料及 び出展広告料 に関する事業	福利厚生等 に関する事業				
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
(1)特定資産運用収入	[7,385]	[12]	[13]	[36]	[61]	[1,569]	[△ 0]	[9,015]	
特定資産利息収入	7,385	12	13	36	61	1,569		9,015	
(2)入会金収入	[16,062,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[16,062,000]	[△ 0]	[32,124,000]	
入会金収入	16,062,000	0	0	0	0	16,062,000		32,124,000	
(3)会費収入	[85,776,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[85,776,000]	[△ 0]	[171,552,000]	
正会員会費収入	85,776,000	0	0	0	0	85,776,000		171,552,000	
(4)事業収入	[204,282,303]	[720,000]	[4,877,042]	[52,645]	[5,649,687]		[△ 25,080]	[209,906,910]	
研修会参加料収入	68,603,753	0	0	0	0	0		68,603,753	
看護職員の資質向上研修事業受託料収入	24,577,230	0	0	0	0	0		24,577,230	
ナースセンター事業受託料収入	30,160,000	0	0	0	0	0		30,160,000	
ナースセンター会館管理受託料収入	5,840,000	0	0	0	0	0		5,840,000	
訪問看護推進事業受託料収入	7,081,000	0	0	0	0	0		7,081,000	
小児救急電話相談事業等受託料収入	1,190,456	0	0	0	0	0		1,190,456	
日本看護協会受託料収入	1,330,560	0	4,179,988	0	4,179,988	0	△ 25,080	5,485,468	
訪問看護療養費収入	49,839,275	0	0	0	0	0		49,839,275	
基本利用料収入	3,677,950	0	0	0	0	0		3,677,950	
その他の利用料収入	1,568,451	0	0	0	0	0		1,568,451	
居宅介護支援事業収入	6,311,763	0	0	0	0	0		6,311,763	
手数料収入	965,200	0	697,054	52,645	749,699	0		1,714,899	
雑収入	3,136,665	720,000	0	0	720,000	0		3,856,665	
(5)補助金等収入	[9,552,020]	[0]	[0]	[0]	[0]		[△ 0]	[9,552,020]	
「看護の日」事業補助金収入	100,000	0	0	0	0	0		100,000	
日本看護協会助成金収入	9,452,020	0	0	0	0	0		9,452,020	
(6)寄付金収入	[1,300,000]	[0]	[0]	[3,846,918]	[3,846,918]		[△ 0]	[5,146,918]	
寄付金収入	1,300,000	0	0	3,846,918	3,846,918	0		5,146,918	
(7)雑収入	[281,623]	[34]	[0]	[2,101]	[2,135]	[668,358]	[△ 0]	[952,116]	
利息収入	1,623	34	0	1	35	10,638		12,296	
雑収入	280,000	0	0	2,100	2,100	657,720		939,820	
事業活動収入計	317,261,331	720,046	4,877,055	3,901,700	9,498,801	102,507,927	△ 25,080	429,242,979	
2. 事業活動支出									
(1)事業費支出	[308,045,470]	[321,563]	[2,656,382]	[11,120,272]	[14,098,217]		[△ 0]	[322,143,687]	
役員報酬支出	22,211,323	119,505	114,705	97,074	331,284	0		22,542,607	
給与手当支出	123,283,957	66,634	1,643,639	577,495	2,287,768	0		125,571,725	
賞与支出	15,295,386	9,888	243,915	85,699	339,502	0		15,634,888	
通勤手当支出	7,030,065	6,494	110,427	38,972	155,893	0		7,185,958	
役員退職慰労金支出	2,819,250	18,900	18,900	22,050	59,850	0		2,879,100	
退職金支出	8,504,607	20,219	20,219	23,589	64,027	0		8,568,634	
法定福利費支出	23,572,803	19,610	333,381	117,664	470,655	0		24,043,458	
福利厚生費支出	743,046	522	8,891	5,364,832	5,374,245	0		6,117,291	
会議費支出	653,212	0	0	0	0	0		653,212	
旅費交通費支出	1,904,243	1,790	0	0	1,790	0		1,906,033	
通信運搬費支出	7,734,566	180	15,550	1,308,560	1,324,290	0		9,058,856	
消耗什器備品費支出	163,273	495	495	495	1,485	0		164,758	
消耗品費支出	7,350,970	23,003	23,003	23,003	69,009	0		7,419,979	
修繕費支出	1,167,380	1,177	1,261	3,535	5,973	0		1,173,353	
印刷製本費支出	15,117,888	0	0	17,856	17,856	0		15,135,744	
燃料費支出	467,007	0	0	0	0	0		467,007	
光熱水料費支出	6,878,392	6,468	6,931	19,406	32,805	0		6,911,197	
賃借料支出	5,072,904	1,600	1,715	4,802	8,117	0		5,081,021	
保険料支出	1,618,358	1,344	1,440	4,034	6,818	0		1,625,176	
諸謝金支出	22,301,618	0	0	0	0	0		22,301,618	
租税公課支出	5,822,218	9,377	95,647	28,132	133,156	0		5,955,374	
負担金支出	35,000	0	0	0	0	0		35,000	
手数料支出	1,291,767	0	880	0	880	0		1,292,647	
看護材料購入費支出	357,869	0	0	0	0	0		357,869	
管理諸費支出	16,852,938	14,357	15,383	3,343,074	3,372,814	0		20,225,752	
図書費支出	1,202,695	0	0	0	0	0		1,202,695	
委託費支出	6,293,106	0	0	0	0	0		6,293,106	
広報費支出	1,948,748	0	0	0	0	0		1,948,748	
雑支出	350,881	0	0	40,000	40,000	0		390,881	

資金収支計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	会計区分	収益事業等会計				計	法人会計	内部取引消去	合計
		公益目的事業会計	施設の貸与等事業	販売手数料及び出展広告料に関する事業	福利厚生等に関する事業				
(2)管理費支出	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[37,606,052]	△ 25,080	[37,580,972]	
役員報酬支出					0	623,394		623,394	
給料手当支出					0	11,945,123		11,945,123	
賞与支出					0	1,717,299		1,717,299	
通勤手当支出					0	840,445		840,445	
役員退職慰労金支出					0	270,900		270,900	
退職金支出					0	289,816		289,816	
法定福利費支出					0	2,333,671		2,333,671	
福利厚生費支出					0	99,071	△ 25,080	73,991	
会議費支出					0	926,225		926,225	
旅費交通費支出					0	148,375		148,375	
通信運搬費支出					0	3,452,400		3,452,400	
消耗什器備品費支出					0	5,742		5,742	
消耗品費支出					0	266,854		266,854	
修繕費支出					0	724,067		724,067	
印刷製本費支出					0	3,140,902		3,140,902	
光熱水料費支出					0	701,890		701,890	
貸借料支出					0	1,636,630		1,636,630	
保険料支出					0	145,902		145,902	
諸謝金支出					0	87,142		87,142	
租税公課支出					0	1,040,791		1,040,791	
負担金支出					0	311,500		311,500	
手数料支出					0	3,934,451		3,934,451	
管理諸費支出					0	1,557,866		1,557,866	
交際費支出					0	528,553		528,553	
図書費支出					0	307,796		307,796	
広報費支出					0	302,300		302,300	
雑支出					0	266,947		266,947	
事業活動支出計	308,045,470	321,563	2,656,382	11,120,272	14,098,217	37,606,052	△ 25,080	359,724,659	
他会計振替収支額調整前事業活動収支差額	9,215,861	398,483	2,220,673	△ 7,218,572	△ 4,599,416	64,901,875	△ 0	69,518,320	
他会計振替収支額	2,400,000	△ 300,000	△ 2,100,000	7,274,207	4,874,207	△ 7,274,207		0	
事業活動収支差額	11,615,861	98,483	120,673	55,635	274,791	57,627,668	△ 0	69,518,320	
Ⅱ 投資活動収支の部									
1. 投資活動収入									
(1)特定資産取崩収入	[11,323,857]	[39,119]	[39,119]	[45,639]	[123,877]	[560,716]	[△ 0]	[12,008,450]	
役員退職慰労引当資産取崩収入	2,819,250	18,900	18,900	22,050	59,850	270,900		3,150,000	
退職給付引当資産取崩収入	8,504,607	20,219	20,219	23,589	64,027	289,816		8,858,450	
(2)固定資産売却収入	[4,500]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[4,500]	
車両運搬具売却収入	4,500	0	0	0	0	0		4,500	
(3)敷金・保証金戻り収入	[10,800]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[10,800]	
保証金戻り収入	2,000	0	0	0	0	0		2,000	
リサイクル預託金戻り収入	8,800	0	0	0	0	0		8,800	
投資活動収入計	11,339,157	39,119	39,119	45,639	123,877	560,716	△ 0	12,023,750	
2. 投資活動支出									
(1)特定資産取得支出	[27,087,815]	[42,865]	[42,865]	[129,668]	[215,398]	[5,134,214]	[△ 0]	[32,437,427]	
役員退職慰労引当資産取得支出	2,274,794	15,249	15,249	17,791	48,289	218,583		2,541,666	
退職給付引当資産取得支出	4,119,440	27,616	27,616	32,219	87,451	395,834		4,602,725	
看護会館取得資金取得支出	20,693,581	0	0	79,658	79,658	4,119,797		24,893,036	
記念事業積立資金取得支出	0	0	0	0	0	400,000		400,000	
(2)固定資産取得支出	[24,187,111]	[98,812]	[98,812]	[98,812]	[296,436]	[14,294,739]	[△ 0]	[38,778,286]	
車両運搬具購入支出	818,797	0	0	0	0	0		818,797	
什器備品購入支出	4,544,555	12,462	12,462	12,462	37,386	771,559		5,353,500	
図書購入支出	119,007	0	0	0	0	0		119,007	
その他資産購入支出	16,808,272	86,350	86,350	86,350	259,050	1,001,660		18,068,982	
リース資産取得支出	1,896,480	0	0	0	0	12,521,520		14,418,000	
(3)敷金・保証金支出	[9,500]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[9,500]	
保証金支出	2,000	0	0	0	0	0		2,000	
リサイクル預託金支出	7,500	0	0	0	0	0		7,500	
投資活動支出計	51,284,426	141,677	141,677	228,480	511,834	19,428,953	△ 0	71,225,213	
投資活動収支差額	△ 39,945,269	△ 102,558	△ 102,558	△ 182,841	△ 387,957	△ 18,868,237	△ 0	△ 59,201,463	
Ⅲ 財務活動収支の部									
1. 財務活動収入									
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	△ 0	0	
2. 財務活動支出									
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0	△ 0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	△ 0	0	
当期収支差額	△ 28,329,408	△ 4,075	18,115	△ 127,206	△ 113,166	38,759,431	0	10,316,857	
前期繰越収支差額	△ 205,015,509	3,814,044	4,070,153	△ 240,909	7,643,288	449,749,196		252,376,975	
次期繰越収支差額	△ 233,344,917	3,809,969	4,088,268	△ 368,115	7,530,122	488,508,627	△ 0	262,693,832	

資金収支計算書に対する注記

1. 資金収支計算書の作成方法

資金収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議監事申合せ)の規定事項及び「公益法人会計基準の運営指針」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)の様式を参考に作成している。

2. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払金、立替金、前払費用、仮払金、未払金、リース債務、前受金、前受会費、預り金及び仮受金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記3に記載のとおりである。

3. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	373,322,898	395,289,087
未収入金	29,085,495	41,602,661
前払金	0	0
立替金	11,000	586,300
前払費用	1,054,776	1,529,070
仮払金	164	0
合計	403,474,333	439,007,118
未払金	8,597,930	21,159,154
リース債務	0	11,534,400
前受金	1,404,000	876,000
前受会費	139,152,000	140,646,000
預り金	1,437,811	1,217,732
仮受金	505,617	880,000
合計	151,097,358	176,313,286
次期繰越収支差額	252,376,975	262,693,832

独立監査人の監査報告書

令和 2年 4月 27日

公益社団法人 千葉県看護協会

会長 寺口 恵子 様

大嶋良弘公認会計士事務所

公認会計士 大嶋良弘 

私は、公益社団法人千葉県看護協会の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表(貸借対照表内訳表を含む。)、正味財産増減計算書(正味財産増減計算書内訳表を含む。)及び財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録及び資金収支計算書について監査を行った。

この財務諸表の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準及び管理規約に準拠して、公益社団法人千葉県看護協会の令和元年度の収支の状況及び同年度末日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

公益社団法人千葉県看護協会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査報告書

公益社団法人千葉県看護協会
会 長 寺 口 恵 子 様

令和元年度における公益社団法人千葉県看護協会の業務執行状況、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計の管理、執行状況について、令和元年度監事監査実施計画に基づき、第1回（令和元年11月18日）及び第2回（令和2年5月8日）監査を実施したので、その結果を報告する。

監査の方法

- 1 業務に関しては、事業実績調書、証拠書類・諸帳簿を資料として、会長（代表理事）及び業務執行理事から報告を受け関係書類を調査、閲覧し、業務執行状況を監査した。
- 2 会計に関しては、帳簿及び関係書類を調査、閲覧し、計算書により報告を受け、また公認会計士からの監査報告書を検証して、会計管理、執行状況を監査した。

監査意見

業務執行、予算執行、財産の管理について、正確かつ適正に処理されていることを認める。

令和2年5月8日

公益社団法人千葉県看護協会

監 事 飯塚忠義

監 事 松永敏子

監 事 石井奈子

メ 毛

第3号議案 令和2年度役員及び推薦委員の選任について

定款第22条、選挙運営規則第2条及び役員に関する規程第2条の規定により、役員及び推薦委員を選任することを求める。

- 1 役員(理事及び監事)については推薦委員会の推薦による被推薦者数と選出数が同数のため、選挙によらず候補者を確定し、当総会の承認により役員を選任する。
- 2 推薦委員については、候補者数が選出数を上回るため、本日の定時総会において選挙を執行し、この選挙結果により選任する。

I 役員(理事)候補者 選任数13名 (候補者数13名)

役 職	推薦・立候補の別	フリガナ氏名	職 種	所 属
理 事	推薦	テラグチ ケイコ 寺 口 恵 子	看	公益社団法人 千葉県看護協会
理 事	推薦	マスブチ ミエコ 増 渕 美 恵 子	助	日本医科大学千葉北総病院
理 事	推薦	ウチヤマ ヒロコ 内 山 弘 子	看	公益社団法人 千葉県看護協会
理 事	推薦	ワタナベ ナオコ 渡 辺 尚 子	看	公益社団法人 千葉県看護協会
理 事	推薦	アオキ ヤスコ 青 木 康 子	助	キッコーマン総合病院
理 事	推薦	タナカ カツコ 田 中 且 子	看	一般社団法人巨樹の会 千葉みなとりハビリテーション病院
理 事	推薦	イトウ ジュンコ 伊 藤 淳 子	看	船橋市立医療センター
理 事	推薦	スズキ ミチコ 鈴 木 美 智 子	看	順天堂大学医学部附属浦安病院
理 事	推薦	タカシバ リツコ 高 柴 律 子	看	成田赤十字病院
理 事	推薦	カワイ ヒロコ 川 井 弘 子	看	サボテン六高台
理 事	推薦	トオヤマ ミチコ 遠 山 美 智 子	看	君津中央病院附属看護学校
理 事	推薦	シンメイ ナオミ 神 明 直 美	看	千葉県立野田看護専門学校
理 事	推薦	ウエハラ アキコ 上 原 亜 希 子	准	公益財団法人日産厚生会 佐倉厚生園病院

※ 理事の選任は、当定時総会の選任決議による。

II 役員（監事）候補者 選任数1名（候補者数1名）

役 職	推薦・立候補	フリガナ 氏 名	職 種	所 属	区 分
監 事	推 薦	サワダ イツコ 澤田 いつ子	保	在宅	会員からの監事

※ 監事の選任は、当定時総会の選任決議による。

III 推薦委員候補者 選任数7名（候補者数8名）

役 職	推薦・立候補	フリガナ 氏 名	職 種	所 属
推薦委員	推 薦	ツカダ マスミ 塚田 真澄	保	千葉県山武健康福祉センター
推薦委員	推 薦	イシゲ シゲミ 石毛 しげみ	助	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院
推薦委員	推 薦	アトジ エリナ 跡治 江理奈	看	医療法人社団協友会 柏厚生総合病院
推薦委員	推 薦	アオタ タカコ 青田 孝子	看	独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院
推薦委員	推 薦	ヤマギシ サトコ 山岸 聡子	看	千葉県こども病院
推薦委員	推 薦	ワダ ミドリ 和田 みどり	看	千葉県千葉リハビリテーションセンター
推薦委員	推 薦	トガノ カズエ 桐野 加寿枝	看	東邦大学医療センター佐倉病院
推薦委員	立候補	マツオ カオリ 松 尾 芳	看	医療法人財団東京勤労者医療会 東葛病院

※ 推薦委員の選任は、当定時総会における選挙結果による。

■ 会長推薦による選挙管理委員候補者(選挙運営規則第7条)

フリガナ 氏 名	所 属
トキタ カヨコ 鶴田 佳容子	医療法人社団有相会 最成病院
ナカノ シュンスケ 中野 俊介	公益財団法人復光会 総武病院
オオダテ ヒロミ 大館 博美	東京女子医科大学八千代医療センター
オオコシ サナエ 大越 真絵	社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院
スガヤ サユリ 菅谷 小百合	香取おみがわ医療センター

第4号議案 2021年度公益社団法人日本看護協会通常総会
代議員・予備代議員の選出について

令和3年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者

【代議員】

	地区	氏名	シメイ	職種	所属
1	理事等	増 淵 美 恵子	マスプチ ミエコ	助	日本医科大学千葉北総病院
2		井 上 恵 子	イノウエ ケイコ	保	公益社団法人 千葉県看護協会
3		宇 崎 めぐみ	ウザキ メグミ	保	千葉県香取健康福祉センター
4		青 木 康 子	アオキ ヤスコ	助	キッコーマン株式会社 キッコーマン総合病院
5		田 中 且 子	タナカ カツコ	看	一般社団法人巨樹の会 千葉みなとリハビリテーション病院
6		許 斐 玲 子	コノミ レイコ	看	社会福祉法人双樹会 地域密着型特 別養護老人ホーム リバーサイド
7		上 原 亜 希子	ウエハラ アキコ	准	公益財団法人日産厚生会 佐倉厚生園病院
8	千 葉	岸 部 友 美	キシベ トモミ	看	自動車事故対策機構 千葉療護センター
9		大 坂 美 穂	オオサカ ミホ	看	千葉県がんセンター
10		生 澤 敦 子	イケザワ アツコ	看	独立行政法人国立病院機構 千葉東病院
11		新 井 玲 子	アライ レイコ	看	医療法人社団誠馨会 千葉中央メディカルセンター
12	市 原	入 江 昭 子	イリエ アキコ	看	帝京大学ちば総合医療センター
13	船 橋	川 崎 敬 子	カサワキ ケイコ	看	東京女子医科大学八千代医療センター
14		宇 梶 智 子	ウカジ トモコ	看	医療法人社団一心会 初富保健病院
15		宮 本 千 津子	ミヤモト チツコ	看	東京医療保健大学 千葉看護学部
16		長 嶋 美 佳	ナガシマ ミカ	看	医療法人社団保健会 東京湾岸リハビリテーション病院
17	市 川	吉 川 淳 子	ヨシカワ ジュンコ	助	東京歯科大学市川総合病院
18		今 居 恭 子	イマイ キョウコ	看	順天堂大学医学部附属浦安病院
19	松 戸	菅 原 直 美	スガワラ ナオミ	看	I M Sグループ 医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院
20	東 葛	米 山 あゆみ	ヨネヤマ アユミ	看	医療法人社団圭春会 小張総合病院
21		増 田 智 子	マスダ トモコ	看	公益財団法人柏市医療公社 柏市立介護老人保健施設はみんぐ
22	印 旛	諸 岡 千 賀子	モロオカ チカコ	看	成田赤十字病院
23		工 藤 由 花	クドウ ユカ	看	東邦大学医療センター佐倉病院
24	利 根	山 本 美 佳	ヤマモト ミカ	看	医療法人社団明芳会 イムス佐原リハビリテーション病院
25	山 武	井 上 純 子	イノウエ ジュンコ	看	地方独立行政法人 さんむ医療センター
26	長 夷	亀 田 日出子	カメダ ヒデコ	看	医療法人SHIODA 塩田記念病院
27	君 津	賀 来 かおり	カク カオリ	看	社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院
28	安 房	山 岸 智 子	ヤマギシ トモコ	看	社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター

※保健師、助産師、准看護師を各1名含むこと。

候補者の所属は、令和2年4月1日時点の会員登録情報による。

【予備代議員】

	地 区	氏 名	シ メ イ	職 種	所 属
1	理事等	浅 野 美知恵	アサノ ミチエ	看	東邦大学健康科学部
2		内 山 弘 子	ウチヤマ ヒロコ	看	公益社団法人 千葉県看護協会
3		渡 辺 尚 子	ワタナベ ナオコ	看	公益社団法人 千葉県看護協会
4		田 口 真由美	タグチ マユミ	看	公益財団法人柏市医療公社 柏市立柏病院
5		伊 藤 淳 子	イトウ ジュンコ	看	船橋市立医療センター
6		久 保 ひろみ	クボ ヒロミ	看	千葉市立海浜病院
7		鈴 木 美智子	スズキ ミチコ	看	順天堂大学医学部附属浦安病院
8		板 倉 さゆり	イタクラ サユリ	准	医療法人社団上総会 山之内病院
9	千 葉	豊 田 明 美	トヨダ アケミ	看	千葉県がんセンター
10		武 井 真寿子	タケイ マジュコ	看	医療法人社団翠明会 山王看護専門学校
11		坂 本 照 美	サカモト テルミ	看	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 QST病院
12		池 畑 久美子	イケハタ クミコ	看	千葉県千葉リハビリテーションセンター
13		阿 部 祐 子	アベ ユウコ	助	医療法人社団誠馨会 千葉メディカルセンター
14	市 原	鈴 木 美 香	スズキ ミカ	看	千葉県循環器病センター
15	船 橋	土 井 幹	ドイ ミキ	看	東京女子医科大学八千代医療センター
16		薄 葉 光 子	ウスバ ミツコ	准	医療法人社団一心会 初富保健病院
17		宮 下 智 枝	ミヤシタ トモエ	看	社会医療法人社団千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院
18		藤 倉 妙 子	フジクラ タエコ	看	船橋市立医療センター
19	市 川	野 沢 順 子	ノザワ ジュンコ	看	医療法人社団嵐川 大野中央病院
20		鈴 木 たまえ	スズキ タマエ	看	公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター
21	松 戸	高 野 ちえ子	タカノ チエコ	看	I MSグループ 医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院
22	東 葛	水 口 かおり	ミズグチ カオリ	看	医療法人財団東京勤労者医療会 東葛病院
23		佐 藤 秀 子	サトウ ヒデコ	看	医療法人聖峰会 岡田病院
24	印 旛	纈 纈 真砂美	コウケツ マサミ	看	医療法人社団愛信会 佐倉中央病院
25		植 草 恵	ウエクサ メグミ	看	日本医科大学千葉北総病院
26	利 根	堀 越 佳 代	ホリコシ カヨ	看	国保多古中央病院
27	山 武	渡 辺 郁 子	ワタナベ イクコ	看	医療法人社団徳風会 高根病院
28	長 夷	藤 本 孝 子	フジモト タカコ	看	医療法人社団三愛会 君塚病院
29	君 津	鳥 飼 紀 子	トリカイ ノリコ	看	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院
30	安 房	丸 山 祝 子	マルヤマ ノリコ	助	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院

候補者の所属は、令和2年4月1日時点の会員登録情報による。

メ 毛

Handwriting practice lines consisting of a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line, repeated 20 times.

報 告 事 項

令和2年度 公益社団法人千葉県看護協会事業計画及び収支予算について

令和2年度事業計画及び収支予算について理事会において承認されたので、報告する。

令和2年度 公益社団法人千葉県看護協会 事業計画について

【スローガン】

「看護の専門性と職能団体としての力を発揮し、県民の健康な生活を支えよう」

【重点項目・重点事業】

- 1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進
- 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進
- 3 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進

※項目は定款第4条の事業に基づき区分

項目	目的	事業	内容 (新規事業：太字ゴシック)	予算 (単位：千円)
①教育研修等による看護の質の向上に関する事業	県民に安全で安心な医療・看護を提供するために、職能団体の責任において、専門職としての生涯教育を提供し、看護職の資質の向上を図る。	1.生涯教育	(1)生涯教育 (85 コース) 分類1：「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 21 コース ・臨床現場で遭遇するアレルギー疾患の基礎知識 ・【JNA 収録 DVD 研修】医療安全管理者養成研修【診療報酬加算対応】 ・【JNA オンデマンド活用研修】准看護師のためのスキルアップ研修 ～誤嚥性肺炎を予防する食事介助～ ・看護職を対象とする禁煙支援研修 ～動機付け面接法の理解～ ・医療から在宅へのバトンタッチ ・スキンケア研修 ・基礎英語力向上研修 他 分類2：JNA ラダーと連動した継続教育 48 コース ①ニーズをとらえる力 ・フィジカルアセスメントの基本を学ぼう① 検査データの読み方・活かし方 ・フィジカルアセスメントの基本を学ぼう② 意識障害のアセスメント ・フィジカルアセスメントの基本を学ぼう③ 呼吸のアセスメント ・フィジカルアセスメントの基本を学ぼう④ 循環のアセスメント ・フィジカルアセスメントの基本を学ぼう⑤ 腹部症状のアセスメント 他 ②ケアする力 ・地域における看取りを考える～在宅・介護施設における看取り～ ・心電図から読み解く病態と看護実践 他 ③協働する力 ・共に考えよう!2年目として「やりがいのある働き方」 ・リーダーを始める人のための コーチング ・医療安全基礎～医療事故事例を法律から見てみる～ 他 ④意思決定する力 ・患者を守り・自分を守る看護倫理の基礎 他 ⑤看護共通 ・自己の成長を促すナラティブ・アプローチ ・周手術期の看護 ～麻酔の機序と術後ケア～ ・基礎から学ぶ臨床推論～看護の臨床判断を高めるスキル～ ・看護研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ・これからのキャリア発達・キャリア開発を考える～人生100年時代を見据えて～ 他 分類3：看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 10 コース ・看護補助者の活用促進のための看護管理者研修 ・職場適応を支えるメンタルヘルス～うつ・発達障害の基本的知識とその対応～ ・ヘルシーワークプレイス (健康で安全な職場) について学ぼう! 他 分類4：専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育 2 コース ・人を育てる臨地実習 ・教育担当者研修 分類5：資格認定教育 4 コース ・訪問看護師養成講習会 ・喀痰吸引指導者養成講習会 ・認定看護管理者教育課程 ファーストレベル教育課程 ー第39回ー ・認定看護管理者教育課程 セカンドレベル教育課程 ー第20回ー	公益目的事業
		2.千葉県看護研究会	(1)第39回千葉県看護研究会 ・開催日 令和3年2月22日(月) ・場 所 東京ベイ幕張ホール	
		3.図書室の管理運営	(1)図書室の管理運営 (2)資料・文献検索・レファレンス	

項目	目的	事業	内容 (新規事業：太字ゴシック)	予算 (単位：千円)
		4.委員会の開催	(1)事業運営のための委員会の開催 ①教育委員会 年6回 ②看護研究委員会 年6回 ③認定看護管理者教育課程運営委員会 年4回	
		小計		110,333
②看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業	ワーク・ライフ・バランスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の確保定着を図る。	1.第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進 2.看護職の労働環境の向上 3.看護進路相談事業 4.中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会 5.ナースセンター事業(千葉県委託)	(1)第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進・評価 (2)第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の策定 (3)看護職定着確保対策協議会の開催 年2回 (4)看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲) ①「看護ちば」、ホームページ等による広報 ②各種協会事業を通じた普及 (5)労働環境改善委員会の開催 年6回 (6)看護政策推進のための組織強化の推進 (1)ヘルシーワークプレイスの構築・推進事業 ①ヘルシーワークプレイスの広報 ②ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の募集 ③ヘルシーワークプレイス推進週間の設置 (2)ワーク・ライフ・バランス相談窓口 ①電話相談(週2日) (1)出前授業(いのちの大切さ教育) (2)ふれあい看護体験事業 (3)進路相談事業 (4)進路担当教員等への情報提供 (1)中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会 (君津地区ほか1地区) (1)看護職の定着確保に係る実態調査 (2)看護職の無料職業紹介 (3)届出制度 ①ナースセンターのコンピュータシステム(とどけるん)を利用し、離職届の受理 ②とどけるん登録者へ就業の意思確認とeナースセンターへの登録の働きかけ(一斉メール等) ③合同就職説明会開催情報、研修会、求人情報、施設概要等の提供 ④届出者に対する就業支援 ⑤就業確認 郵送による就業調査 (4)未就業看護職の就業支援 ①看護基礎技術講習会(5回/月程度開催) ②合同就職説明会の開催 ③訪問看護基礎研修会(年5回) ・半日コース 年2回(地区1回、看護会館1回) ・1日コース 年3回(看護会館) ・研修会受講後の再就業支援(再掲) ④看護職への求人情報の提供 ⑤公共職業安定所と連携した相談ブースの設置 (千葉2回/月、松戸2回/月、木更津1回/月、成田1回/月、船橋1回/月) ⑥未就業看護師等再就業支援セミナーの開催 ・2回/年程度(ナースセンター、その他ハローワーク等にて開催) ⑦サテライト事業の推進 ・公共職業安定所と連携した相談ブースの設置(再掲) ・合同就職説明会の開催(再掲) ・再就業支援セミナーの開催(再掲) ⑧就業相談推進アドバイザーによる施設訪問 ⑨プラチナナース研修会 対象：55才以上で定年退職を迎える看護職、定年した未就業看護職 ⑩ナースセンター来所者、ハローワーク相談者への就業確認 ・郵送による調査 (5)ナースセンター運営委員会の開催 年1回	公益目的事業

項目	目的	事業	内容 (新規事業：太字ゴシック)	予算 (単位：千円)
		6.医療・看護における安全対策	<p>(6)ナースセンター事業の広報 (7)関係機関との連携（日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等） (8)看護職への相談支援 (9)看護進路相談事業(再掲) (10)ナースセンターの維持管理</p> <p>(1)医療・看護に関する相談支援、情報提供 ・医療事故調査に関する情報提供、支援者紹介 (2)医療安全推進週間の推進 ①医療安全大会の開催 ・開催日 令和2年11月15日(日) ・場所 幕張メッセ国際会議場 ②医療安全推進の普及啓発 ・医療安全に関する標語の募集 ・ポスター等による普及啓発 (3)医療安全管理者の育成 ①医療安全管理者養成研修会(再掲) ②医療安全担当者中央交流会(年1回) ③医療安全担当者地区交流会(2年目：市川・千葉・船橋地区 1年目：印旛・山武地区) (4)関係機関等との連携促進 (5)医療安全委員会の開催 年6回</p>	
		小 計		70,438
③訪問看護の推進に関する事業	在宅医療の中核を担う訪問看護の質の向上を図り、安定的な供給を図る。	<p>1.訪問看護推進事業 (千葉県委託)</p> <p>2.訪問看護出向支援事業 (千葉県委託)</p> <p>3.訪問看護推進事業 (協会単独事業)</p> <p>4.関係機関との連携</p>	<p>(1)訪問看護推進協議会の開催 (2)訪問看護に関する総合相談の実施 (3)訪問看護の普及啓発事業 ①看看連携・看看ケアマネ連携フォーラム(安房地区、他1ヶ所) ②パンフレットの配布 (4)訪問看護師指導者育成研修会(年2回) (5)訪問看護再就職支援事業 ①訪問看護ステーション見学体験事業 ②訪問看護就職フェア(年1回) (6)訪問看護病院経営者(看護管理者)講習会(年1回)</p> <p>(1)訪問看護ステーション等出向支援事業のコーディネート業務 ①出向元・出向先施設のマッチング及び調整 ②出向看護師等の支援 ③関係団体等に対する事業説明や協力依頼、広報等 ④出向にかかわる書類作成支援</p> <p>(1)訪問看護師人材育成事業 ①「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 対象と定員：新卒訪問看護師(1年目1名、2年目1名) チャレンジ訪問看護師(2名) ②「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業の普及 ③訪問看護師養成講習会の開催(再掲) (2)訪問看護ステーションIT化等推進事業 ・「(旧)千葉県看護協会版訪問看護ソフト」用IT機器貸与の継続管理(1事業所予定)</p> <p>(1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携 (2)医師会、千葉県訪問看護ステーション協会等との連携</p>	公益目的事業
		小 計		17,518

項目	目的	事業	内容 (新規事業：太字ゴシック)	予算 (単位：千円)
④県民の健康・福祉の増進に関する事業	看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への理解を深める。	1.「看護の日」「看護週間」事業	(1) Nursing Now キャンペーンの実施 (2) 「看護の日・看護週間」制定30周年・ナイチンゲール生誕200周年記念事業 in ちば 【テーマ】「看護」は世紀を越えて進化する ～看護の力で健康な社会を！～ — 地域で輪となりつなげる看護 — 第1部 ・日時 令和2年5月10日(日) ・会場 東京ベイ幕張ホール ・内容 開会式及び記念講演等 第2部 ・日時 令和2年5月16日(土) ・会場 12地区部会が決定した場所 ・内容 各種測定、健康に関する各種相談等 (3)実行委員会の開催(2回)	公益目的事業
		2.「まちの保健室」事業	(1)常設型の開催 ①開催場所 12地区部会の決定会場 (2)イベント型の積極的な開催	
		3.自殺予防対策	(1)心の総合相談 ①専用電話・専用メールによる相談対応 ②自殺予防に関する広報 ③相談員研修 (2)人材育成研修の開催(再掲) ①「看護師のストレスマネジメント ～アンガーマネジメントの視点を取り入れて～」(再掲) ②「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)について学ぼう」(再掲) ③「職場適応を支えるメンタルヘルス～うつ・発達障害の基本的知識とその対応～」(再掲)	
		4.関係機関・他団体への協力	(1)小児救急電話相談事業への協力 (2)研修会等への講師紹介や派遣 (3)行事等への参加	
		5.災害支援対策事業	(1)災害支援ネットワークの強化 ①災害時における関係機関との連携 ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、関係団体等 ②平常時における連携 ・県内施設、日本看護協会等合同防災訓練 ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加 (2)災害に備えた支援体制の整備 ①災害支援ナースの登録促進 ②災害支援ナースの登録・管理 ③災害救護対応マニュアル等の見直し ④災害時の災害支援ナースの派遣調整 ⑤災害時必要物品の管理 年1回 (3)災害支援ナースの育成 ①「災害支援ナースの基礎知識」(再掲) ②「災害医療と看護(実践編)」(再掲) ③災害支援ナース更新・再登録要件講習会 (4)災害対策委員会(常任委員会)の開催 年6回	
	小計		26,557	

項目	目的	事業	内容 (新規事業：太字ゴシック)	予算 (単位：千円)
⑤看護に関する調査研究看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	看護を取り巻く課題を明確にし、看護職の専門性や看護の発展に寄与する。	1.職能委員会(職能)	(1)保健師職能委員会 年6回程度 (2)助産師職能委員会 年6回程度 (3)看護師職能委員会(領域Ⅰ) 年6回程度 (4)看護師職能委員会(領域Ⅱ) 年6回程度	公益目的事業
		2.職能集会・交流会(職能)	(1)職能集会 ・開催日 令和2年6月23日(火) ・場所 東京ベイ幕張ホール ①保健師職能集会 1回 ②助産師職能集会 1回 ③看護師職能集会(領域Ⅰ) 1回 ④看護師職能集会(領域Ⅱ) 1回 (2)各職能別交流会 ①保健師職能交流会 1回 ②助産師職能交流会(管理者、中堅) 2回 ③看護師職能交流会(領域Ⅰ) 1回 ④看護師職能交流会(領域Ⅱ) 1回 ⑤准看護師交流会 1回	
	1.県行政等への要望・意見具申(看護制度)	(1)県の令和3年度予算等に関する要望書の提出 (2)県議会等の活動への協力依頼等 (3)千葉県医療審議会等への参画	2.看護関連施策に対する提言(看護制度)	(1)国・日本看護協会等の要望・提言 (2)資格認定制度の推進 ①専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 ②特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進
		小計		8,086
⑥指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業	在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。	1.訪問看護事業	(1)質の高い訪問看護の提供 (2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (3)24時間、緊急時の訪問看護の提供	公益目的事業
		2.居宅介護支援事業	(1)ケアプランの提供 (2)地域のネットワークづくり (3)利用者の申請代行	
		3.訪問看護の普及	(1)訪問看護研修生の受入れ (2)看護学生実習の受入れ	
		4.地域ニーズに応じた運営体制の整備	(1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (2)ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回 (3)ちば訪問看護ステーション運営会議 年2回程度	
		5.医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携	(1)医療機関、介護支援専門員等との連携 ①地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加 (2)利用者確保のための広報活動	
		6.職員の資質の向上	(1)事例検討ミーティング (2)研修会・学会等への参加 (3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)	
		7.ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進	(1)看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的な取り組み (2)職員が働きやすく、魅力ある職場づくり (3)経営の安定化 (4)看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会の開催 年度末1回	
		8.千葉県認知症初期集中支援推進事業(千葉市委託)	(1)認知症に係る各機関との連携・調整 (2)認知症の人及びその家族に対する支援の検討及び提供 (3)認知症の人及びその家族に対する情報収集及び提供 (4)認知症の人及びその家族に対する研修会、交流会等の実施	
		小計		63,667

項目	目的	事業	内容 (新規事業：太字ゴシック)	予算 (単位：千円)
⑦その他、この法人が目的を達成するために必要な事業	県民の健康な生活の実現に貢献するために、地域の特性を考慮した看護の提供及び保健知識の普及を行う。	1.地区部会活動事業	(1)具体的な地区部会活動 ①役員会 年5回程度 ②連絡会 年2回程度 ③研修会 年3回 ④まちの保健室の開催(再掲) ⑤「看護の日」「看護週間」事業(再掲) ⑥その他、地区特有の事業 ・合同就職説明会の開催(再掲) ・医療安全担当者地区交流会の開催(再掲) (2)地区部会長会の開催 年2回	公益目的事業
	情報提供及び広報を行う。	1.情報提供、広報事業	(1)千葉県看護協会の広報 ①機関誌「看護ちば」の発行 年4回 ②ホームページの充実 ③協会パンフレット等の活用 (2)広報委員会の開催 年6回	
		小計		40,512
	当協会会員に対する相互扶助等の(福利厚生)事業を行う。	1.施設の貸与等事業 2.販売手数料及び出展広告に関する事業 3.会員サービス・福祉の充実等	(1)別館2階会議室②の貸付 (1)看護関連図書の紹介 (2)総会・医療安全大会等 出展広告掲載業者の募集 (3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務(日本看護協会) (1)会員への相談支援、情報提供 (2)看護職の表彰 (3)慶弔見舞金等の給付 (4)災害時の支援(再掲) (5)会員福利厚生サービスの実施・広報	収益事業等 会計
	小計		9,811	
県民の健康な生活の実現に貢献するために、公益社団法人としての組織運営を円滑・適正に行う。	1.組織運営に関する会議等の開催 2.会員増の促進 3.公益社団法人に係る届出事務(千葉県知事等) 4.日本看護協会との連携	(1)総会(終了後、職能集会) 年1回 ・開催日 令和2年6月23日(火) ・場所 東京ベイ幕張ホール (2)理事会 年6回程度 (3)監事監査 年2回(5月、11月) (4)施設等会員代表者会 年2回 (5)地区部会長会 年2回(7月、1月) (6)保助看護職能委員会(再掲) 年6回程度 (7)推薦委員会 年6回程度 (8)常任委員会(再掲) 年6回程度 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増促進委員会 看護研究委員会 災害対策委員会 (9)千葉県看護連盟との連携 合同研修会 (1)新規・再入会の促進 (2)継続会員への勧奨 (3)千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 ①看護学生の表彰 ②千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 (4)会員増促進委員会の開催(年6回) (1)令和3年度事業計画・収支予算等の提出(3月) (2)令和元年度定期報告(事業報告・決算報告等)(6月) (3)役員等の変更登記及び届出 (1)法人会員会・理事会 (2)職能委員長会 (3)日本看護協会通常総会代議員選出		

項目	目的	事業	内容 (新規事業：太字ゴシック)	予算 (単位：千円)
		5.行政等との連携	(1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 (2)四師会、日本助産師会及び関係団体との連携 (3)関係団体の行事等への協賛・後援	法人会計
		6.役員・職員の資質の向上と福利厚生	(1)研修の実施 ①担当業務に係る外部研修等の受講 ②集合研修の実施 (2)健康診断およびインフルエンザ予防接種 (3)有給休暇の取得促進	
		7.協会資産の管理	(1)看護会館等の管理 ①看護会館の管理 イ 保全等 ロ 環境整備 ②協会物品の管理 イ 物品台帳の整備 ③公用車の管理 (2)情報資産の管理・活用 ①情報資産の管理 イ 情報セキュリティの確保 ロ 個人情報関連業務の標準化 ②情報資産の活用 イ グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有	
		小計		41,763
		予算合計		388,685

令和2年度 公益社団法人千葉県看護協会収支予算について

令和2年度予算の概要

1 予算編成方針

平成24年度、新公益社団法人へ移行したことに伴い、予算の編成にあたっては、公益目的事業を重視し、事業計画を円滑かつ効率的に推進するため、限りある収入を効果的に活用することを旨に、重点事業を設定し、また個別事業ごとに事業の内容を精査し、経費を積算したうえで予算を編成したものである。

2 予算の作成方式

(1) 法令により新公益法人制度に準拠した「20年会計基準」を適用しており、収支予算は、新基準に基づいた「損益ベース」の収支予算書で構成している。

*「平成20年会計基準」 国の定める公益社団法人の標準会計方式（平成20年策定、施行）

(2) 収支予算は、大きく「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計（全体管理費）」の3つの会計区分として構成される。

(3) 「公益目的事業会計」は、定款第4条（事業）の規定による7つの事業に区分している。

(4) 「収益事業等会計」は、収益事業である「施設の貸与等事業」「販売手数料及び出展広告料に関する事業」と、相互扶助事業である「会員福利厚生等に関する事業」に区分している。

(5) 令和2年度予算は、公益社団法人の法定要件として求められる、次の財務三基準を考慮して作成し、これらの基準を満たしている。

- ① 公益目的事業に係る収入が事業実施に要する費用を超えないこと
(収支相償の原則)
- ② 公益目的事業比率が事業費全体の50%以上となるものであること
(50%ルール)
- ③ 遊休財産額（用途を定めない財産）が保有制限額を超えないこと

3 予算の構成等

(1) 概況

① 全体予算の規模は、収益で416,506千円、費用で388,685千円である。

前年度決算との比較において主な点は以下のとおりである。

イ) 研修会参加料	71,974千円→74,458千円
・研修参加人員の増	2,484千円増
ロ) 看護職員の資質向上研修事業受託料	24,737千円→9,800千円
・看護教員養成講習会（隔年実施）	13,000千円減
・実習指導者講習会（保健師・助産師）	1,200千円減
・千葉県認知症対応力研修等	737千円減
ハ) ナースセンター事業受託料 前年同額	36,000千円

② 費用内訳は、次のとおりである。

公益目的事業	337,111千円 (86.8%)
収益事業等	9,811千円 (2.5%)
法人会計	41,763千円 (10.7%)
計	388,685千円 (100%)

(2) 特記事項

- ① 受取入会金及び受取年会費については、新規入会数2,800人、会員数29,000人を見込み算定している。
- ② 受取入会金及び受取年会費については、制度上、原則として50%を公益目的事業会計に計上する必要がある等の理由から、公益目的事業会計へ50%を計上し、残額を法人会計へ計上している。
ただし、実際の執行にあつては、法人会計から公益目的事業の費用も負担することとなる。
(入会金・年会費の50%だけを公益目的事業に用いるということではない。)
- ③ 県等他団体からの受託・補助等事業については、見込額をもとに予算を計上しているものである。

令和2年度 収支予算書（概要）

令和2年度 収支予算

(単位：千円)

経常収益計	416,506
経常費用計	388,685
当期経常増減額	27,821
経常外収益	0
経常外費用	1,433
当期一般正味財産増減額	26,388
正味財産期首残高	833,341
正味財産期末残高	859,729

収益の部

(単位：千円)

会計区分	科目	予算額	前年度予算額	増減額	構成比率	
公益目的事業会計	特定資産受取利息	7	6	1	0.00%	
	受取入会金	16,800	15,960	840	4.03%	
	受取年会費	87,000	86,340	660	20.89%	
	研修会参加料	74,458	71,974	2,484	17.88%	
	事業受託料 収 益	看護職員の資質向上研修事業受託料（千葉県）	9,800	24,737	△ 14,937	2.35%
		ナースセンター事業受託料・管理受託料（千葉県）	36,000	36,000	0	8.64%
		訪問看護推進事業受託料（千葉県）	7,081	7,081	0	1.70%
		看護政策推進のための組織強化事業（日本看護協会）	0	938	△ 938	0.00%
		インターネット配信研修受託料（日本看護協会）	670	560	110	0.16%
		小計	53,551	69,316	△ 15,765	12.86%
	訪問看護・居宅介護・認知症支援事業収益 ※特定資産受取利息及び受取利息を除く	62,981	62,386	595	15.12%	
	その他 事業収益	小児救急電話相談	1,167	1,239	△ 72	0.28%
		多職種協働によるかかりつけ医・在宅医療等県民啓発	0	700	△ 700	0.00%
		（受取手数料・雑収益）	330	1,349	△ 1,019	0.08%
		小計	1,497	3,288	△ 1,791	0.36%
	受取補助金等	教育助成金（日本看護協会）	9,200	9,452	△ 252	2.21%
		看護の普及啓発助成金（日本看護協会）	100	100	0	0.02%
		小計	9,300	9,552	△ 252	2.23%
	受取寄附金	1,300	1,300	0	0.31%	
	事業外収益（受取利息・雑収益）	1	1	0	0.00%	
公益目的事業 計		306,895	320,123	△ 13,228	73.69%	
収益事業等 会計	施設の貸与等事業	720	720	0	0.17%	
	販売手数料及び 出展広告料に 関する事業	757	727	30	0.18%	
	日本看護協会受託料（会員管理業務・代議員業務）	4,260	4,180	80	1.02%	
	会員福利厚生等 に関する事業	60	260	△ 200	0.01%	
収益事業等 計		5,797	5,887	△ 90	1.38%	
法人 会計	特定資産受取利息	1	1	0	0.00%	
	受取入会金	16,800	15,960	840	4.03%	
	受取年会費	87,000	86,340	660	20.88%	
	受取利息及び雑収益	13	12	1	0.00%	
	法人会計 計	103,814	102,313	1,501	24.92%	
経常収益計		416,506	428,323	△ 11,817	100.00%	

費用の部

(単位：千円)

会計区分	定 款 事 業		予算額	前年度予算額	増減額	構成比率		
公 益 目 的 事 業 会 計	①	教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	資質向上	生涯教育	83,585	75,734	7,851	21.50%
				千葉県看護研究学会				
				図書室の管理運営				
				委員会の開催				
		資質向上(県)	千葉県受託研修	26,748	33,767	△ 7,019	6.88%	
	小 計			110,333	109,501	832	28.39%	
	②	看護師等の労働環境等の改善、就業促進等により、看護師等の人材確保・定着に関する事業	看護職確保・定着事業	第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進	15,593	18,829	△ 3,236	4.01%
				看護職の労働環境の向上				
				看護進路相談事業				
			ナースセンター事業(県)	ナースセンター事業(千葉県委託)	42,165	45,403	△ 3,238	10.85%
		医療看護安全	医療・看護における安全対策	12,680	12,079	601	3.26%	
	小 計			70,438	76,311	△ 5,873	18.13%	
	③	訪問看護の推進に関する事業	訪問看護推進	訪問看護師人材育成事業	8,652	8,376	276	2.23%
				訪問看護ステーションIT化等推進事業				
			関係機関との連携					
		訪問看護推進(県)	訪問看護推進事業(千葉県委託)	8,866	8,735	131	2.28%	
	小 計			17,518	17,111	407	4.51%	
	④	県民への健康・福祉の増進に関する事業	保健知識普及啓発	「看護の日」「看護週間」事業	20,198	17,214	2,984	5.20%
				「まちの保健室」事業				
				自殺予防対策				
関係機関・他団体への協力								
災害救護対策			災害支援対策事業	6,359	6,586	△ 227	1.64%	
	関係機関・他団体への協力							
小 計			26,557	23,800	2,757	6.83%		
⑤	看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	職能	職能委員会、職能集会・交流会	6,482	6,226	256	1.67%	
		看護制度	県行政等への要望、意見具申	1,604	1,564	40	0.41%	
			看護関連施策に対する提言					
小 計			8,086	7,790	296	2.08%		
⑥	介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業	訪問看護・居宅介護・認知症支援	訪問看護事業	63,667	59,821	3,846	16.38%	
			居宅介護支援事業					
			認知症支援事業					
			訪問看護の普及					
			地域ニーズに応じた運営体制の整備					
			医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携					
			職員の資質の向上					
			小 計					63,667
⑦	その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	地区部会	地区部会活動事業	15,387	13,598	1,789	3.96%	
		広報	情報提供、広報事業	14,511	13,244	1,267	3.73%	
		公益目的事業共通	各公益目的事業に係る共通経費	10,614	8,009	2,605	2.73%	
		小 計			40,512	34,851	5,661	10.42%
公益目的事業 計			337,111	329,185	7,926	86.73%		
収益事業等会計	施設の貸与等事業	施設の貸与等事業に伴う事業費		410	778	△ 368	0.11%	
	販売手数料及び出展広告料に関する事業	販売手数料及び出展広告料に関する事業に伴う事業費		2,841	2,810	31	0.73%	
	会員福利厚生等に関する事業	会員福利厚生等に関する事業に伴う事業費		6,560	6,093	467	1.69%	
収益事業等 計			9,811	9,681	130	2.52%		
法人会計	組織運営関係費(総会、理事会、会員増委員会 その他)		41,763	41,556	207	10.73%		
	その他一般管理費							
	法人会計 計			41,763	41,556	207	10.73%	
経常費用計			388,685	380,422	8,263	100.00%		

令和 2 年度予算 正味財産増減計算書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位：千円)

	公益目的 事業会計	収益事業等会計				法人会計	合計
	中計	施設貸与等	販売手数料等	会員福利厚生	中計	中計	
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 特定資産運用益							
特定資産受取利息	7					1	8
② 受取入会金							
受取入会金	16,800					16,800	33,600
③ 受取会費							
正会員受取会費	87,000					87,000	174,000
④ 事業収益							
イ) 研修会参加料							
教育研修会参加料	74,458						74,458
ロ) 事業受託料収入							
看護職員の資質向上研修事業受託料	9,800						9,800
ナースセンター事業受託料	30,160						30,160
ナースセンター会館管理受託料	5,840						5,840
訪問看護推進事業受託料	7,081						7,081
インターネット配信研修業務受託料	670						670
会員登録事務業務受託料			4,105		4,105		4,105
日本看護協会看護政策推進組織強化事業受託料							
日本看護協会代議員選出業務受託料			155		155		155
ハ) 訪問看護・居宅介護支援事業収益							
訪問看護療養費収益	30,415						30,415
基本利用料収益	16,870						16,870
その他の利用料収益（訪看）	1,075						1,075
治験収益	0						
居宅介護支援事業収益	7,800						7,800
認知症支援事業収益	6,142						6,142
雑収益（訪問・居宅）	679						679
二) その他事業収益							
小児救急電話相談事業受託料	1,167						1,167
受取手数料	230	720	757	57	1,534		1,764
雑収益	100						100
⑤ 受取補助金等							
日本看護協会助成金	9,300						9,300
⑥ 受取寄付金							
受取寄付金	1,300						1,300
⑦ 雑収益							
受取利息	1					11	12
雑収益	0			3	3	2	5
経常収益計	306,895	720	5,017	60	5,797	103,814	416,506

令和 2 年度予算 正味財産増減計算書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位：千円)

	公益目的 事業会計	収益事業等会計				法人会計	合計
	中計	施設貸与等	販売手数料等	会員福利厚生	中計	中計	
(2) 経常費用	事業費				事業費	管理費	
役員報酬	22,450	121	116	98	335	629	23,414
給料手当	124,736	70	1,741	612	2,423	12,790	139,949
賞与	15,267	10	242	85	337	1,702	17,306
通勤手当	7,056	6	110	39	155	871	8,082
役員退職慰労引当金繰入額	1,731	12	12	14	38	166	1,935
退職給付費用	3,796	19	19	22	60	276	4,132
法定福利費	24,373	20	343	121	484	2,404	27,261
福利厚生費	860		10	1,532	1,542	117	2,519
旅費交通費	2,577					191	2,768
通信運搬費	9,364	1	9	487	497	3,441	13,302
減価償却費	23,260	81	81	98	260	1,766	25,286
消耗什器備品費	444	2	2	2	6	23	473
消耗品費	7,954	26	26	26	78	304	8,336
修繕費	1,875	2	2	5	9	194	2,078
印刷製本費	13,227					3,107	16,334
燃料費	458						458
光熱水料費	6,167	6	7	19	32	697	6,896
賃借料	10,140	2	2	5	9	2,219	12,368
保険料	1,605	1	1	4	6	139	1,750
諸謝金	22,879					236	23,115
租税公課	8,295	14	100	41	155	1,540	9,990
支払負担金	35					377	412
看護材料購入費	371						371
管理諸費	16,710	17	18	3,350	3,385	1,801	21,896
交際費	0					500	500
図書費	945					308	1,253
会議費	740					1,256	1,996
支払手数料	655					3,800	4,455
委託費	5,146						5,146
広報費	3,247					555	3,802
雑費 (その他の経費)	748					354	1,102
経常費用計	337,111	410	2,841	6,560	9,811	41,763	388,685
当期経常増減額	△ 30,216	310	2,176	△ 6,500	△ 4,014	62,051	27,821
2. 経常外増減の部							0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	279	1	1	1	3	1,151	1,433
当期経常外増減額	△ 279	△ 1	△ 1	△ 1	△ 3	△ 1,151	△ 1,433
他会計振替額	2,000		△ 2,000	6,500	4,500	△ 6,500	0
当期一般正味財産増減額	△ 28,495	309	175	△ 1	483	54,400	26,388
一般正味財産期首残高	187,771	6,267	4,638	200	11,105	634,465	833,341
一般正味財産期末残高	159,276	6,576	4,813	199	11,588	688,865	859,729
II 指定正味財産増減の部							
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	159,276	6,576	4,813	199	11,588	688,865	859,729

令和2年度 正味財産増減計算書 公益目的事業会計明細表(1)

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

(単位：千円)

	公益目的事業会計 公1						
	1 教育・研修等による 看護の質の向上 に関する事業		2 看護師等の労働環境等の改 善、就業促進等により、看 護師等の人材確保・定着に 関する事業			3 訪問看護の推進に 関する事業	
	資質向上	資質向上(県)	確保定着	ナースセンター	医療安全	訪看推進	訪看推進(県)
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
①特定資産運用益							
特定資産受取利息							
②受取入会金							
受取入会金							
③受取会費							
正会員受取会費							
④事業収益							
イ) 研修会参加料							
教育研修会参加料	73,090	1,368					
ロ) 事業受託料							
看護職員の資質向上研修事業受託料		9,800					
ナースセンター事業受託料				30,160			
ナースセンター会館管理受託料				5,840			
訪問看護推進事業受託料							7,081
インターネット配信研修業務受託料	670						
会員登録事務業務受託料							
日本看護協会看護政策推進組織強化事業受託料							
日本看護協会代議員選出業務受託料							
ハ) 訪問看護・居宅介護支援事業収益							
訪問看護療養費収益							
基本利用料収益							
その他の利用料収益(訪看)							
治験収益							
居宅介護支援事業収益							
認知症支援事業収益							
雑収益(訪問・居宅)							
二) その他事業収益							
小児救急電話相談事業受託料							
受取手数料	230						
雑収益							
⑤受取補助金等							
日本看護協会助成金	9,200						
⑥受取寄附金							
受取寄附金							
⑦雑収益							
受取利息							
雑収益							
経常収益計	83,190	11,168	0	36,000	0	0	7,081

(単位：千円)

公益目的事業会計 公1											
4 県民への健康・福祉の増進に関する事業		5 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業		7 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業			小計	6 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業（訪問看護ステーション）		小計	中計
保健知識	災害救護	職能	看護制度	地区部会	広報	共通		訪問看護	居宅介護		
						6	6	1		1	7
						16,800	16,800				16,800
						87,000	87,000				87,000
							74,458				74,458
							9,800				9,800
							30,160				30,160
							5,840				5,840
							7,081				7,081
							670				670
								30,415		30,415	30,415
								16,870		16,870	16,870
								1,075		1,075	1,075
									7,800	7,800	7,800
								6,142		6,142	6,142
								679		679	679
1,167							1,167				1,167
							230				230
	100						100				100
100							9,300				9,300
						1,300	1,300				1,300
						1	1				1
1,267	100	0	0	0	0	105,107	243,913	55,182	7,800	62,982	306,895

令和2年度 正味財産増減計算書 公益目的事業会計明細表(2)

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

(単位：千円)

	公益目的事業会計 公1						
	1 教育・研修等による 看護の質の向上 に関する事業		2 看護師等の労働環境等の改 善、就業促進等により、看 護師等の人材確保・定着に 関する事業			3 訪問看護の推進に 関する事業	
	資質向上	資質向上(県)	確保定着	ナースセンター	医療安全	訪看推進	訪看推進(県)
(2) 経常費用							
役員報酬	3,932	1,284	1,624	2,382	1,738	2,419	1,211
給料手当	19,661	9,388	7,844	17,721	4,179	2,829	2,584
賞与	2,716	1,380	891	2,347	876	684	567
通勤手当	1,305	686	629	1,192	365	259	203
役員退職慰労引当金繰入額	418	259	168	255	89	83	60
退職給付費用	693	430	279	424	148	138	99
法定福利費	3,757	2,101	1,636	3,717	868	808	606
福利厚生費	104	58	45	133	34	22	17
旅費交通費	45		13	288	59	78	286
通信運搬費	1,152	254	179	1,581	323	11	622
減価償却費	8,913	2,443	1,038		614	564	410
消耗什器備品費	68	42	27		15	13	10
消耗品費	1,956	887	382	755	233	198	185
修繕費	565	194	12	130	17	19	13
印刷製本費	3,546	420	169	1,006	557	7	490
燃料費							
光熱水料費	2,031	780	44	2,200	61	67	48
賃借料	1,607	194	151	80	1,405	17	112
保険料	405	139	9		12	13	25
諸謝金	13,900	2,249	245	2,230	696	104	820
租税公課	4,319	1,485	94	20	130	142	103
支払負担金							
看護材料購入費							
管理諸費	6,286	2,066	114	4,174	158	172	125
交際費							
図書費	858			40	10		5
会議費	180	9		10	61		25
支払手数料							
委託費	5,146						
広報費				1,480			240
雑費(その他の経費)	22				32	5	
経常費用計	83,585	26,748	15,593	42,165	12,680	8,652	8,866
評価損益等調整前当期経常増減額	395	15,580	15,593	6,165	12,680	8,652	1,785
基本財産評価損益等							
特定資産評価損益等							
投資有価証券評価損益等							
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	395	15,580	15,593	6,165	12,680	8,652	1,785
2. 経常外増減の部							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	51	32	20	0	11	10	7
当期経常外増減額	51	32	20	0	11	10	7
他会計振替額(収益事業より)							
当期一般正味財産増減額	446	15,612	15,613	6,165	12,691	8,662	1,792
一般正味財産期首残高							
一般正味財産期末残高							
II 指定正味財産増減の部							
受取補助金等							
一般正味財産への振替額							
当期指定正味財産増減額							
指定正味財産期首残高							
指定正味財産期末残高							
III 正味財産期末残高							

(単位：千円)

公益目的事業会計 公1											
4 県民への健康・福祉の増進に関する事業		5 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業		7 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業			小計	6 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業（訪問看護ステーション）		小計	中計
保健知識	災害救護	職能	看護制度	地区部会	広報	共通		訪問看護	居宅介護		
2,078	1,135	548	644	1,098	1,171		21,264	831	355	1,186	22,450
5,972	2,392	1,850	354	6,112	2,565		83,451	35,468	5,817	41,285	124,736
1,474	447	225	49	602	252		12,510	2,711	46	2,757	15,267
441	195	316	45	194	252		6,082	826	148	974	7,056
135	50	37	12	60	68		1,694	23	14	37	1,731
225	83	61	19	99	112		2,810	964	22	986	3,796
1,373	485	363	141	606	525		16,986	6,509	878	7,387	24,373
38	13	10	4	17	14		509	315	36	351	860
55	20	106		1,338	20		2,308	239	30	269	2,577
165	120	305		820	2,765	22	8,319	996	49	1,045	9,364
893	348	272	113	423	602	5,775	22,408	517	335	852	23,260
22	8	6	2	10	12	137	372	64	8	72	444
345	205	123	26	371	182	1,793	7,641	301	12	313	7,954
21	12	11	9	13	11	177	1,204	597	74	671	1,875
242	110	908		560	5,050		13,065	144	18	162	13,227
								408	50	458	458
76	45	42	30	47	38	48	5,557	530	80	610	6,167
4,235	11	664	8	1,487	10	12	9,993	128	19	147	10,140
15	10	8	6	9	8	10	669	833	103	936	1,605
386	100	409		780	80		21,999	880		880	22,879
161	95	95	64	100	82	1,351	8,241	48	6	54	8,295
								31	4	35	35
								371		371	371
196	115	108	78	121	580	634	14,927	1,632	151	1,783	16,710
											0
23							936	9		9	945
	40	15		400			740				740
						655	655				655
							5,146				5,146
1,527							3,247				3,247
100	320			120	112		711	33	4	37	748
20,198	6,359	6,482	1,604	15,387	14,511	10,614	273,444	55,408	8,259	63,667	337,111
△18,931	△6,259	△6,482	△1,604	△15,387	△14,511	94,493	△29,531	△226	△459	△685	△30,216
							0				0
							0				0
							0				0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
△18,931	△6,259	△6,482	△1,604	△15,387	△14,511	94,493	△29,531	△226	△459	△685	△30,216
											0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	6	5	2	7	9	103	279	0	0	0	279
△16	△6	△5	△2	△7	△9	△103	△279	0	0	0	△279
						2,000	2,000			0	2,000
△18,947	△6,265	△6,487	△1,606	△15,394	△14,520	96,390	△27,810	△226	△459	△685	△28,495
							199,613			△11,842	187,771
							171,803			△12,527	159,276
											0
											0
							0			0	0
							0			0	0
							171,803			△12,527	159,276

令和2年度 資金調達・設備投資の見込みについて

1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input type="checkbox"/> あ り	<input checked="" type="checkbox"/> な し
事業番号	借入先	金 額	
		円	

2) 設備投資の見込みについて

設 備 投 資 の 予 定		<input checked="" type="checkbox"/> あ り	<input type="checkbox"/> な し
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
公1、収1、 収2、他1、 法人	ホームページリニューアル 一式	4,319,700円	自己資金
公1	デスクトップパソコン1台	300,000円	自己資金
公1、収1、 収2、他1、 法人	エプソン大判プリンター	500,000円	自己資金

理事会報告

会長 寺口 恵子

1. 理事会開催状況

回数	開催年月日	出席者		会場
		理事	監事	
第1回	令和元年 5月16日	18	3	千葉県看護会館 1階会議室
第2回	令和元年 6月27日	18	3	東京ベイ幕張ホール
第3回	令和元年 7月12日	14	2	ホテルポートプラザちば 2階パール
第4回	令和元年10月10日	15	3	千葉県看護会館 1階会議室
第5回	令和元年12月12日	18	3	千葉県看護会館 1階会議室
第6回	令和2年 3月27日	14	3	千葉県看護会館 2階中研修室

2. 理事会協議事項

回数	開催月日	協議事項	協議内容
第1回	5月16日	<p>議事</p> <p>第1号議案 平成30年度事業報告について</p> <p>第2号議案 平成30年度決算報告及び監査報告について</p> <p>第3号議案 令和元年度改選役員等候補者について</p> <p>第4号議案 会員以外の者からの監事候補者の選出について</p> <p>第5号議案 令和2年度公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員・予備代議員候補者の選出について</p> <p>第6号議案 令和元年度千葉県看護協会会長表彰について</p> <p>第7号議案 令和元年度地区部会役員の選任について</p> <p>第8号議案 令和元年度常任委員会委員の一部交代について</p> <p>第9号議案 千葉県看護協会職員給与規程の一部改正について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認
第2回	6月27日	<p>議事</p> <p>第1号議案 副会長、専務理事、保健師職能理事、看護師職能理事（領域Ⅱ）の選定について</p> <p>第2号議案 理事会の議長(会長)に事故があった場合の議長について</p> <p>第3号議案 令和元年度業務執行理事の選定及び業務分担について</p> <p>第4号議案 令和元年度役員の業務分担について</p> <p>第5号議案 令和元年度役員の報酬額の決定について</p> <p>第6号議案 令和元年度職能委員の選任について</p> <p>第7号議案 令和元年度地区部会役員の選任について</p> <p>第8号議案 令和元年度常任委員会委員の選任について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認

回数	開催月日	協議事項	協議内容
第3回	7月12日	議事 第1号議案 千葉県知事への要望について 第2号議案 令和元年度地区部会役員の選任について	・満場一致で承認 ・満場一致で承認
第4回	10月10日	議事 第1号議案 千葉県看護協会職員給与規程の一部改正について 第2号議案 令和元年度常任委員会委員の一部交代について 第3号議案 令和元年度地区部会役員の選任について	・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認
第5回	12月12日	議事 第1号議案 令和元年度千葉県看護協会の収支予算の変更(補正予算)について 第2号議案 令和2年度千葉県看護協会の重点項目・重点事業(案)について 第3号議案 令和2年度生涯教育研修計画(案)について 第4号議案 災害見舞金の給付について 第5号議案 公益社団法人千葉県看護協会看護学生表彰規程(案)について	・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認
第6回	3月27日	議事 第1号議案 令和2年度事業計画(案)について 第2号議案 令和2年度予算、資金調達・設備投資の見込み(案)について 第3号議案 令和2年度における千葉県看護協会の運営(案)について 第4号議案 令和2年度定時総会の招集(案)について 第5号議案 茂原本納土地賃貸借契約解除及び建物処分(案)について 第6号議案 千葉県看護協会職員給与規程の一部改正について 第7号議案 名誉会員の推薦について 第8号議案 書面会議の開催について 第9号議案 令和2年度地区部会役員の選任について	・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認 ・満場一致で承認

業務運営会議報告

専務理事 井上 恵子

1. 業務運営会議の開催

業務運営会議の設置について理事会運営規則第22条では、「柔軟かつ円滑な協会運営に資することを目的として、理事会へ提出する重要又は臨時の必要がある議案を事前に協議又は審議するため、会長、副会長、専務理事及び常任理事によって構成される会議を置くことができる。」とされている。

令和元年度は5回の会議を開催した。

2. 開催状況

回数	開催日	協議事項	協議内容
第1回	5月14日	I 議題 1. 平成30年度事業報告について 2. 平成30年度決算報告及び監査報告について 3. 令和元年度改選役員等候補者について 4. 会員以外の者からの監事候補者の選出について 5. 令和2年度公益社団法人日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者の選出について 6. 令和元年度千葉県看護協会会長表彰について 7. 令和元年度地区部会役員の選任について 8. 令和元年度常任委員会委員の一部交代について 9. 千葉県看護協会職員給与の一部改正について	・平成30年度事業報告、決算・監査報告等について協議した。 ・令和元年度改選役員等候補者について協議した。 ・監事候補者、代議員、地区部会役員の選出について協議した。
第2回	8月21日	I 議題 1. 千葉県知事への要望について 2. 令和元年度地区部会役員の選任について	・理事・監事・施設等会員代表者などから提出された要望を取りまとめ、内容を整理した。
第3回	10月3日	I 議題 1. 千葉県看護協会職員給与の一部改正について 2. 令和元年度常任委員会委員の一部交代について 3. 令和元年度地区部会役員の選任について	・職員給与と災害対策委員会の設置、平成30年度地区部会役員の変更について協議した。
第4回	12月5日	I 議題 1. 令和元年度千葉県看護協会の収支予算の変更(補正予算)について 2. 令和2年度千葉県看護協会の重点項目・重点事業(案)について 3. 令和2年度生涯教育研修計画(案)について	・平成30年度補正予算について協議した。 ・平成31年度重点項目・重点事業について協議した。 ・平成31年度生涯教育研修計画について協議した。
第5回	3月19日	I 議題 1. 令和2年度事業計画(案)について 2. 令和2年度予算、資金調達・設備投資の見込み(案)について 3. 令和2年度における千葉県看護協会の運営(案)について 4. 令和2年度定時総会の招集(案)について 5. 茂原本納土地賃貸借契約解除及び建物処分(案)について 6. 千葉県看護協会職員給与と規程の一部改正について 7. 名誉会員の推薦について 8. 書面会議の開催について 9. 令和2年度地区部会役員の選任について	・平成31年度の事業計画、予算等について協議した。 ・平成31年度定時総会の実施内容について協議した。

施設等会員代表者会報告

専務理事 井上 恵子

1. 開催状況

回数	開催日	場所	内容
第1回	7月12日	ホテルポート プラザちば 2階ロイヤル	表彰等 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業 ・看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業修了証交付 役員紹介 議 事 令和元年度千葉県看護協会の事業計画について 講 演 「職場におけるハラスメントの発生事例とその対応」 講師 あおぞらの虹法律事務所 弁護士 南川 麻由子 氏 座長 公益社団法人千葉県看護協会 常任理事 内山 弘子
第2回	2月25日	ホテルポート プラザちば 2階ロイヤル	新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

地区部会報告

専務理事 井上 恵子

1. 地区部会会長会

回数	開催日	内容
第1回	7月30日	<p>I 議題</p> <ol style="list-style-type: none">令和元年度千葉県看護協会の体制について<ol style="list-style-type: none">千葉県看護協会定款について千葉県看護協会の組織・運営について<ol style="list-style-type: none">①組織機構図・組織運営図について②役員の職務と担当職域について③理事・監事事務分掌について④事務局体制について(3) 事業計画・年間計画について地区部会活動について<ol style="list-style-type: none">(1) 地区部会活動の役割等について(2) 地区部会活動に関する事務処理等について(3) 平成30年度地区部会活動報告について(4) 令和元年度地区部会活動年間事業計画について <p>II. その他</p> <ol style="list-style-type: none">1. 協会からの連絡事項<ol style="list-style-type: none">(1) 「病院における看護補助者の確保及び活用に関する実態調査」への協力依頼について(2) 中小規模病院看護管理者の研修会及び情報交換会の開催地区について
第2回	1月28日	<p>I 議題</p> <ol style="list-style-type: none">1. 令和2年度 重点項目・重点事業及び地区部会の目的・役割等について2. 令和元年度地区部会活動報告3. 地区部会等からの検討事項4. 提出書類等について5. 医療安全担当者地区交流会について6. その他

2. 地区部会会計に係る説明会

回数	開催日	内容
第1回	4月24日	<ol style="list-style-type: none">1. 地区部会事業の概要について2. 今年度地区部会に係る会計処理について3. その他

職 能 委 員 会 報 告

保 健 師 職 能 委 員 会

委員長 宇 崎 めぐみ

I 活動目標

1. 保健師が専門性を発揮し、効果的な保健活動が推進できるよう、資質向上を図ると共に、ネットワークの拡大強化による地域包括ケアの充実を図る。
2. 多様化する保健師活動に寄り添うような活動を検討し、多くの保健師とつながる事を目指しつつ、会員数を増やすことで保健師職能の組織力（政策提言力）アップを図る。

II 活動内容

1. 保健師職能集会

(1) 日 時：令和元年6月27日（木） 14：00～16：00

(2) 会 場：東京ベイ幕張ホール

(3) テーマ：データヘルス時代の健康なまちづくり

(4) ねらい：

- ① 様々なデータを活用することの意義を理解する。
- ② 「見える化」による「課題設定」を行うことで、実践と効果検証が容易になることを理解し、保健活動におけるPDCAサイクルの円滑化に寄与する。
- ③ 人々の行動に影響を及ぼす環境要因にも着目し、個人だけでなく、健康なまちづくりへと視野を広げる。

(5) 参加者数：60名

(6) 内 容：講演 「データヘルス時代の健康なまちづくり」

講師 千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門 教授 近藤克則氏

データヘルスは「医療保険者が健診やレセプト等の健康医療情報を分析した上で行う、加入者の健康状態に即したより効果的・効率的な保健事業」。データヘルス計画の策定ステップは、ステップ1：現状を把握する、ステップ2：健康課題を抽出する、ステップ3：課題に対応した事業を選定し、目標・評価指標を設定する、ステップ4：事業の運営を通じて計画の見直しを図る。

ビッグデータを活用することで、見えていなかった実態や法則、対策が見えてくる。介護予防事業を活用した地域づくりの例として、武豊プロジェクト（介護予防のための地域介入研究）が紹介された。データから、社会参加と要介護認定や認知症の発生との関連を地域の課題として見える化し、住民主体のサロンを立ち上げた。サロンの効果として、参加群で要介護認定率が低いこと、認知症の発症も減ったことがデータで示された。

(7) アンケート結果 参加者数：60名 回答者数：57名 回答率：95%

① 参加者の背景

入会状況：会員22名 非会員35名

職種：保健師56名 看護師0名 その他1名

所属：県13名 市町村31名 企業4名 学校0名 その他9名

年代：20歳代7名 30歳代10名 40歳代18名 50歳代21名 60歳以上1名

② 理解度

理解できた：52名 少し理解できた：5名 あまり理解できなかった：0名

全く理解できなかった：0名

(8) 評価

データを活用した地域づくりの面白さが実感できる内容で、参加者の感想も好評であった。身近なデータ等も活用して、健康なまちづくりに取り組むことを期待する。

著名な講師でテーマもニーズに合っていたためか参加者が多かった。(去年は、休日開催で、休日のためバスの便がなかった。) 非会員の割合が多く、入会につなげる工夫が課題である。

2. 保健師職能交流会

(1) 日 時：令和2年2月12日(水) 14:00～16:30

(2) 会 場：千葉県看護協会

(3) テーマ：台風被害から学んだこと～妊産婦乳児を守る災害対策～

(4) ねらい：① 台風15号(9月)、台風19号(10月)、大雨(10月)では、長期の停電や断水、通信障害、浸水等、県内各地で様々な災害対応が行われた。この災害での学びを共有し、災害対策の見直しや災害時の保健活動の充実を図る。なお、今回は、きめ細かい配慮を要する妊産婦乳児に焦点を当てる。

② 助産師や災害時リエゾン看護師の参加により、お互いの役割を確認し、看護職連携推進の一助とする。

(5) 参加者数：54名

(6) 内 容：報告① 南房総市の活動：南房総市保健福祉部健康支援課 課長補佐兼保健師長 水島二美氏

報告② 富里市の活動：富里市健康福祉部健康増進課 久米恵理子氏

報告③ 助産師の活動：Sora-いんぐ出張専門助産院しまもり 院長 島森孝恵氏

報告④ 災害時小児周産期リエゾンの活動：

千葉大学医学部附属病院NICU・GCU看護師 弓削千尋氏

ワールドカフェ

(7) アンケート結果 参加者数54：名 回答者数：47名 回答率：87%

① 参加者の背景

入会状況：会員18名 非会員29名

職種：保健師38名 助産師3名 看護師6名

所属：県11名 市町村22名 医療機関9名 その他4名 不明1名

経験：5年以下7名 6～10年6名 11～20年14名 21～30年13名 31～40年7名

② これまでの災害時活動の経験

経験あり：22名 経験なし：17名 不明：8名

③ 今後の活動に活かせるか

活かせる：45名 あまり行かせない：2名

(8) 評価

2市から、母子の避難所について、対象や職員の配置・役割分担、運営、物品の準備、課題等、具体的な報告があり、県内でも設置している自治体は少ないため、今後の設置に非常に参考となる報告であった。

また、助産師と災害時小児周産期リエゾンから、それぞれ今回の災害での具体的な活動について報告していただき、災害時の助産師や災害時小児周産期リエゾンとの連携について考えることができた。

報告時間は10分ずつで短かったが、その後、ワールドカフェで情報共有、意見交換を行った。災害以外でもこのような連携の場があるとよい等、好評であった。

それぞれの所属で、助産師との話し合いやリエゾンとの連携体制をマニュアルに記載する等、具体的な動きにつながることを期待する。

3. 保健師職能だよりの発行

令和元年冬号

4. その他

(1) 入会促進

保健師職能集会及び保健師職能交流会は非会員も参加可能として案内し、参加した非会員には、日本看護協会が作成した職種別の加入案内を配布し入会を促した。

(2) 千葉県看護協会事業への参加・協力

職能委員長は職能理事として千葉県看護協会の理事会等に参加した。

(3) 次年度実施を希望する研修について（職能交流会のアンケートより）

- ・災害
- ・介護保険法

Ⅲ 令和元年度保健師職能委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第1回	8月9日	1 年間活動計画について	職能集会の評価 看護政策推進のための組織強化事業について、看護協会の魅力の伝え方、研修のテーマ、施設訪問について検討
第2回	10月2日	1. 全国職能委員長会の報告 2. 地域包括ケアシステムに関する現状と看護連携について 3. 保健師職能交流会について	地域包括ケアシステムに関する現状と看護連携についての意見交換 保健師職能交流会テーマの検討
第3回	11月15日	1. 保健師職能交流会について 2. 令和2年度活動計画・予算計画について 3. 実績報告について	保健師職能交流会のテーマ、目的、対象、内容等を検討した。 令和2年度の計画について検討 検討事項の一つであった職場環境の把握を、資質向上に変更することとした。
第4回	2月12日	1. 令和2年度保健師職能集会について 2. 令和元年度活動実績について 3. 保健師職能交流会の打合せ	保健師職能集会のテーマ、講師の検討 令和元年度活動実績（案）について検討 保健師職能交流会のプログラムと進行の確認、参加者のグループ分け等

回数	開催月日	議 題	内 容
第5回	3月2日～ 31日 メールによる検討（新型コロナウイルスの感染拡大防止のため）	1. 令和2年度保健師職能集会について 2. 年間実績報告・まとめについて	会議が開催できないため、保健師職能集会の開催方法やプログラム等をメールで検討した。 年間実績報告・まとめについて書面をもって委員の了解を得た。

IV 令和2年度 活動計画

項 目	内 容	
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> 保健師が専門性を発揮し、効果的な保健活動が推進できるよう、資質向上を図ると共に、ネットワークの拡大強化による地域包括ケアの充実を図る。 多様化する保健師活動に寄り添うような活動を検討し、多くの保健師とつながる事を目指しつつ、会員数を増やすことで保健師職能の組織力（政策提言力）アップを図る。 	
委員会 開催予定	<ul style="list-style-type: none"> 保健師職能委員会 6回 メールによる意見交換 2回 	
検討事項	<ol style="list-style-type: none"> 保健師の資質向上について 保健師がその機能を発揮できているか 地域包括ケア体制整備への関り方など 看護協会の魅力発信 看護協会HPの活用 職能委員会の活動状況報告 職能だよりの発行など（春・秋） ネットワークの拡大強化 地域包括ケアの充実と保健師の役割 看護職間の連携強化 小児保健学会の座長の決定と参加 	
職能集会	<ol style="list-style-type: none"> 活動実績報告 活動計画について 日本看護協会保健師職能委員会活動報告 講演会 	
交流会	<ol style="list-style-type: none"> 活動領域を超えた保健師との交流会 講演会又はシンポジウム等 情報交換、ワールドカフェ 	
三職能 合同委員会	<ol style="list-style-type: none"> 三職能共通の課題の検討 看護職の連携について 	
その他	日本看護協会	<ol style="list-style-type: none"> 千葉県看護協会保健師職能委員会活動状況報告 日本看護協会総会（全国保健師職能集会） 都道府県保健師職能委員長会議 1回 地区別保健師職能委員長会議 1回
	印刷物	<ol style="list-style-type: none"> 保健師職能だより 職能集会資料
	その他	<ol style="list-style-type: none"> 千葉県看護協会事業への参加・協力 千葉県小児保健協会理事会・総会への参画

助産師職能委員会

委員長 大澤 豊子

I 活動目標

1. 県民の安全かつ安心な妊娠、出産、育児を目指し、実践能力を高め、その専門性を発揮できるように支援する。
2. 会員相互の情報交換を図り、県内産科医療施設間の連携を強化する。

II 活動内容

1. 助産師職能集会

(1) 日 時：令和元年6月27日（木） 14：00～16：00

(2) 場 所：東京ベイ幕張ホール

(3) テーマ：子育てに活かせる絵本の力 ～絵本読み聞かせ教育のプロに学ぶ～

(4) 趣 旨：子どものこころを育てることは母子保健における大きな目標の一つです。ネット依存や児童虐待など、こころの問題がクローズアップされ、多職種連携による子育て支援の重要性が叫ばれています。成果につながる活動を続けることは並大抵のことではありません。そこで、今回は、半世紀にわたって子供の成長過程における絵本の重要性を訴え、松戸に図書館を設立する運動、「松戸市おはなしキャラバン」の設立、延べ423万人に対する絵本教育などを実践し、現在も「劇団天童」を主宰する浜島代志子氏を講師に招きました。実際に対話式絵本の読み聞かせ講座の一部を体験させていただいて、絵本の力を学び、助産師の子育て支援に活かしてみませんか。ご多用中とは存じますが、是非、ご参加くださいますようよろしくお願いいたします。

(5) 参加者数：21名

(6) 内 容：講演 「子育てに活かせる絵本の力～絵本読み聞かせ教育のプロに学ぶ～」

講師 劇団天童 主宰えほん教育協会 会長沖縄国際大学 社会人講師 浜島代志子氏

(7) アンケート集計結果 参加者：21名 アンケート回収数：19名 回収率：90.5%

① 参加者の背景

年齢：20歳代0名 30歳代4名 40歳代4名 50歳代8名 60歳以上3名

勤務先：総合病院（産科単科病棟）2名 総合病院（産科混合病棟）7名 総合病院産科外来0名
産科個人病院診療所0名 助産師養成機関1名 その他8名

職位：師長3名 主任（副師長）1名 副主任0名 スタッフ10名 教員2名 その他2名 無回答1名

助産師の経験年数：1～3年未満0名 3～5年未満1名 5～7年未満2名 7～10年未満0名

10～15年未満2名 15～20年未満3名 20～25年未満2名 25年以上9名

② 講演の満足度

満足：14名 やや満足：4名 やや不満：1名 不満：0名

③ 助産師活動に活かせるか

とても活かせる：8名 やや活かせる：9名 あまり活かせない1名 活かせない：0名 無回答：1名

(8) 総括

今年度は初めて総会と職能集会が同日に行われた。参加人数は21名であり、前回平成29年度の29名より少なかった。アンケート結果より、開催時期は全員、総会と同時開催はほとんどが適当と回答しているが、これは実際に参加した方からの回答であるため、職能集会として適当な設定だったとは言い難い。参加者は助産師経験10年未満の参加が少なく、これは総会と同日開催が影響していると考えられる。次年度以降も総会と同日開催のため、職能集会の周知や若い助産師が参加できるような働きかけの方法を検討する必要がある。

講演の満足度は高く、ほとんどが「満足」「やや満足」と回答した。講師は一方的な講義ではなく双方向性を意識していたこと、また参加者が読み聞かせを体験ができたことなどが満足度につながっていると考えられた。ほとんどの参加者が助産師活動に「とても活かせる」「やや活かせる」と回答しており、講演は参加者のニーズを満たせる内容であったと言える。

2. 産科管理者交流会

(1) 日 時：令和元年11月13日（水）10:00～16:00

(2) 場 所：千葉県ナースセンター3階 実習室

(3) テーマ：周産期メンタルヘルス ～産科と精神科との連携～

(4) 趣 旨：周産期のメンタルヘルス支援は、産後ばかりでなく、妊娠中から継続した支援が必要であり、妊娠・出産・子育てに関わる全ての保健医療福祉スタッフの連携が重要だと言われています。しかし、精神科を併設している産科施設は少ないため、妊産婦のメンタルヘルス支援を実施していく上で、多職種との連携に苦慮している現状がうかがわれます。

令和元年度の千葉県看護協会の重点目標でも、「地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進」が挙げられており、助産師も看護提供体制の構築・推進への知識を得ることが必要となっています。

(5) 内 容：講演「産科と精神科との連携」

講師 医療法人学而会 木村病院 渡邊博幸先生

(6) アンケート集計結果 参加者：35名 アンケート回収数：30名 回収率：86%

① 参加者の背景

年 齢：20歳代0名 30歳代4名 40歳代11名 50歳代12名 60歳以上2名 無回答1名

勤務先：総合病院（産科単科病棟）5名 総合病院（産科混合病棟）13名 総合病院産科外来0名
産科個人病院診療所4名 教育機関7名 その他1名

職 位：師長6名 主任（副師長）8名 副主任1名 スタッフ7名 教員7名 その他1名

職位の経験年数：1年未満4名 1～5年未満7名 6～10年未満4名 1～15年未満2名
16年以上10名 無回答2名

アドバンス助産師の取得：はい15名 いいえ15名 無回答0名

アドバンス助産師の更新：はい9名 いいえ5名 無回答1名

今後の取得：はい2名 いいえ15名

② 講演についての満足度

満足：28名 やや満足：1名 やや不満：0名 不満：0名 無回答：1名

③ グループディスカッションの満足度

満足：20名 やや満足：5名 やや不満：0名 不満：0名 無回答：5名

④ 助産師活動に活かせるか

とても活かせる：16名 やや活かせる：10名 あまり活かせない：0名 活かせない：0名
無回答：4名

⑤ 他施設の方との交流の場になりましたか

はい：26名 いいえ：0名 どちらでもない：1名 無回答：3名

(7) 総括

参加人数は35名（内7名職能委員）であり、昨年度とほぼ同等の参加率である。参加者の内訳は総合病院の師長、主任、教育機関の教員が多く、個人病院、診療所からの参加は少なかった。

講演の満足度は高く、83%が「満足」「やや満足」と回答した。講師は周産期メンタルヘルスの重要性と千葉県内における精神科医による周産期メンタル活動状況を伝えてくださり、参加者の周産期メンタルヘルス支援に対する関心の高さが現れていると考える。

グループディスカッションの満足度も高く、71%が「満足」「やや満足」と回答した。十分な時間を確保したことで他施設におけるメンタルヘルスケアの現状と今後の課題についての情報共有や交流が図れた結果と考える。

74%の参加者が助産師活動に「とても活かせる」「やや活かせる」と回答しており、産科管理者交流会は参加者のニーズを満たせる内容であったと言える。

今回の研修において、助産師のモチベーションの向上や保健師職能との合同開催など職能委員への要望を多数頂くことができた。

3. 中堅助産師交流会

(1) 日 時：令和2年1月27日（月）13:00～16:30

(2) 場 所：千葉県看護会館 大研修室

(3) テーマ：女性のためのリフレクソロジー ～あなたも体験してみませんか～

(4) 趣 旨：助産師の役割は、すべての年代の女性への支援を行うことがあげられます。精神的な支援のためのコミュニケーション技術の充実の他、補助スキルとしてのタッチングやマッサージ技術の提供は効果的です。妊産褥婦へのマッサージ技術提供は臨床現場で広く実践されています。更に、更年期女性の不定愁訴の軽減、また、老年期においてもマッサージは認知機能低下の場合にも精神的な安定をもたらすことが期待出来ます。

今回、リフレクソロジーの技術を学び、看護の対象者への技術提供だけでなく、自分自身へのセルフマッサージへも活用し、リフレッシュにつなげていただきたいと思います。

(5) 内 容：講義「女性のためのリフレクソロジー ～あなたも体験してみませんか～」

講師：はるのつき院長 都築明美先生、大竹葉月先生

(6) アンケート集計結果 参加者：28名 アンケート回収数：28 回収率：100%

① 参加者の背景

年 齢：20歳代4名 30歳代6名 40歳代9名 50歳代8名 60歳以上1名

勤務先：総合病院（産科単科病棟）4名 総合病院（産科混合病棟）10名 総合病院産科外来0名

産科個人病院診療所0名 教育機関4名 その他1名

職 位：師長0名 主任（副師長）2名 副主任1名 スタッフ19名 教員4名 その他2名

助産師の経験年数：1年未満0名 1～3年1名 4～6年6名 7～10年6名 11～15年1名 16年以上14名

アドバンス助産師の取得：はい13名 いいえ15名

アドバンス助産の更新：はい4名 いいえ2名 検討中2名

今後の取得：はい13名 いいえ7名

② 講演・演習についての満足度

満足：26名 やや満足：2名 やや不満：0名 不満：0名

・実践することで、自分自身が効果を実感できた。

・実際の手技をしっかりと教えていただけた。

・楽しい。こんなに楽しい研修は初めてです。 他

③ 今後の助産師活動に活かせるか

とても活かせる：19名 やや活かせる：9名 あまり活かせない：0名 活かせない：0名

- ・分娩進行や産褥の方に実践していきたい。
- ・保健指導や退院指導で取り入れていきたい。
- ・分娩促進ケアや乳房ケアに活かそう。

(7) 総括

参加人数は28名（内7名が職能委員）であった。参加者の内訳は、総合病院・教育機関が占めており個人病院・診療所の参加はみられなかった。開催時期に関しては、1月の最終週の月曜日と連休はなく中堅助産師が参加しやすい時期であった。

講演・演習についての満足度は、「満足」「やや満足」と全員が回答している。講師2名に対し参加者28名であり、デモンストレーション後に丁寧な個別指導を受けられる環境であった。リフレクソロジーを実施・体験することで、自身が楽しく・気持ち良い体験から対象への援助効果を考えることができ、臨床導入にむけて検討できるプログラムとなった。すべての参加者が助産師活動に「とても活かせる」「やや活かせる」と回答しており、講演は参加者のニーズを満たせる内容であったと言える。

4. 「国際助産師の日」企画・開催

(1) 日 時：令和元年5月11日（土）13：00～16：00

(2) 会 場：ユニモちはら台

(3) 内 容：「看護の日」に市原地区部会イベントと合同で国際助産師の日のイベントを開催した。今年も妊婦体験、沐浴体験、赤ちゃん抱っこ体験、胎児モデル展示、進路相談を行った。当日は学生ボランティアも参加し、参加者にいろいろな体験をしてもらい大変好評だった。

5. 助産師だよりの発行

秋号（11月）・春号（4月）の2回発行

6. その他 令和元年度千葉県看護協会研修計画への参加及び日本看護協会事業への参加・協力

Ⅲ 令和元年度 委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第1回	7月16日	①新規役員顔合わせ ②国際助産師の日まとめ ③助産師職能集会まとめ ④年間計画決定	①助産師職能委員会の役割、設置運営規程について、委員長より説明。 ②実施報告書の作成。 ③アンケート集計結果の報告、確認。 ④年間計画、交流会、職能集会について、テーマ、日程、プログラム、担当者の決定。
第2回	9月11日	①産科管理者交流会準備 ②中堅助産師交流会準備 ③助産師だより(秋号)作成	①テーマ：周産期メンタルヘルス～産科と精神科との連携～、役割分担を決定。趣旨書、プログラム、アンケートの作成。 ②テーマ：女性のためのリフレクソロジー、講師依頼、プログラムの検討。 ③助産師だより秋号の作成。
第3回	10月31日	①産科管理者交流会最終確認 ②中堅助産師交流会準備	①産科管理者交流会の内容、進行、役割分担について最終確認。 ②中堅助産師交流会の内容、物品準備、役割分担を決定。趣旨書の作成。
第4回	12月11日	①産科管理者交流会評価 ②中間評価 ③令和2年度活動計画 ④中堅助産師交流会準備 ⑤令和2年度助産師職能集会検討	①産科管理者交流会アンケート結果の報告、確認。 ②中間評価について報告書の作成。 ③活動計画の立案。 ④役割分担、物品準備の最終確認。 ⑤テーマ、講師の検討
第5回	1月27日	①中堅助産師交流会最終確認 ②助産師職能集会検討	①参加予定人数、グループ分けの確認。 ②テーマ、講師の確認、趣旨書(案)作成、チラシ作成。
第6回	3月10日	①中堅助産師交流会評価 ②職能集会(6月)企画・打ち合わせ ③国際助産師の日準備・打ち合わせ ④令和元年度まとめ ⑤総会資料作成 ⑥助産師だより(春号)作成	①アンケート結果の報告。 ②趣旨書作成 ③持参物品、役割、協力員、ボランティアの確認。 ④⑤資料作成 ⑥助産師だよりの作成

IV 令和2年度 委員会活動計画

項目	内容	
活動目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 県民の安全かつ安心な妊娠、出産、育児をめざし、助産師が、実践能力を高め、その専門性を発揮できるように支援する。 2. 会員相互の情報交換を図り、県内助産師間の連携を強化する。 	
委員会開催予定	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産師職能委員会 年6回程度 2. 三職能合同委員会 年2回 	
検討事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実践能力の向上 <ol style="list-style-type: none"> (1) 標準化 <ol style="list-style-type: none"> ①助産師ラダーの推進 (2) 質の向上 <ol style="list-style-type: none"> ①助産師ラダーの普及、推進 ②アドバンス助産師の活動状況調査結果に基づく課題の検討 ③助産師出向システム構築の支援 ④教育部への研修に関する提案 2. 専門性の発揮 <ol style="list-style-type: none"> (1) ラダー推進（初回申請・更新）のための研修の提案・提言 (2) 子育て世代を対象にした地域包括ケアの推進 (3) 周産期メンタルヘルスに関する情報提供 3. 県内の助産師職能の組織力の強化 <ol style="list-style-type: none"> (1) キャリア及び施設の特性に応じた助産師の情報交換と交流の推進 (2) ネットワークの構築 (3) 助産師だよりの発行 4. 国際助産師の日の企画・運営 	
交流会等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 産科管理者交流会の企画・開催 2. 新人助産師交流会（新人助産師研修会）への参画 3. 中堅助産師交流会の企画・開催 	
職能集会の持ち方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前年度活動報告 2. 本年度活動計画 3. 講演会またはシンポジウム 4. 意見交換 	
三職能合同委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 三職能共通課題の検討 2. 職能集会の開催 3. 職能集会資料の作成 	
その他	日本看護協会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 千葉県看護協会助産師職能委員会活動状況報告 2. 日本看護協会総会・全国助産師職能委員会活動に協力 3. 都道府県職能委員長会議 年2回 4. 地区別法人会・都道府県助産師職能委員長会 年1回
	印刷物等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職能集会資料 2. 助産師だより
	その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 千葉県小児保健協会理事会・総会への参画 2. 千葉県看護協会事業への参加・協力